

らくらく産地直販 R 6

プリンタの接続と設定

R e v . G

令和 2 年 7 月 5 日

| 目 次 | ページ |
|------------------------------------|-----|
| 1. はじめに | 3 |
| 2. プリンタの接続方法 | 3 |
| 3. プリンタの種類と印刷帳票 | 3 |
| 3. 1 通常プリンタ | 3 |
| 3. 2 ドットプリンタ | 4 |
| 4. プリンタの制御のしくみ | 5 |
| 5. プリンタのインストール | 5 |
| 6. 用紙の定義 | 6 |
| 6. 1 郵便払込票の定義 | 6 |
| 6. 2 配送伝票：ヤマト単票の定義 | 8 |
| 7. 通常プリンタの登録・設定 | 10 |
| 7. 1 前面カセットと背面トレイのプリンタ | 11 |
| 7. 1. 1 既設のプリンタを「カセット」に設定する | 11 |
| 7. 1. 2 もう1台のプリンタを追加して、「後トレイ」に設定する | 13 |
| 7. 2 前面カセットと前面トレイのプリンタ | 18 |
| 7. 2. 1 既設のプリンタを「カセット」に設定する | 18 |
| 7. 2. 2 もう1台のプリンタを追加して、「トレイ」に設定する | 20 |
| 7. 2. 3 郵便払込票を設定する | 24 |
| 8. ドットプリンタの登録・設定 | 27 |
| 8. 1 プリンタの登録 | 27 |
| 8. 1. 1 既存のプリンタを「トラクタフィード」に設定する | 27 |
| 8. 1. 2 もう1台のプリンタを追加して、「手差し」に設定する | 29 |
| 8. 2 配送伝票の設定 | 35 |
| 8. 2. 1 連続帳票の場合 | 35 |
| 8. 2. 2 単票の場合 | 40 |
| 8. 3 配送伝票の切り換え | 50 |
| 8. 3. 1 複数の連続帳票を切り替える | 51 |
| 8. 3. 2 複数の単票を切り替える | 52 |
| 8. 3. 3 連続帳票と単票を切り替える | 53 |

1. はじめに

らくらく産地直販R6は、配送伝票（連続帳票／単票）の他に、A4普通紙（請求書等の伝票、申込書、集計表など）、はがき、封筒、郵便払込票等に印刷しますが、用紙の給紙方法やサイズが異なるため、ご使用になるプリンタのプロパティを適切に設定する必要があります。

本書は、プリンタの接続方法および設定方法について説明します。

2. プリンタの接続方法

パソコンとプリンタの接続は、①USBケーブルで接続する方法、②無線LANで接続する方法、③有線LAN（LANケーブルで）接続する方法があります。

本書では、USBケーブルで接続する方法について説明します。

無線LAN・有線LAN接続については、各機器のマニュアルを参照してください。



3. プリンタの種類と印刷帳票

プリンタは、普通紙に印刷できるインクジェットプリンタ／レーザープリンタ（通常プリンタと呼ぶ）と複写式配送伝票に印刷するドットプリンタが必要です。（他システム連携のみの場合、ドットプリンタは不要です）

郵便払込票は特殊サイズのため、印刷できるプリンタを選択し、用紙を登録する必要があります。

3. 1 通常プリンタ

請求書と郵便払込票を印刷する場合は「給紙方法を2つ備えたプリンタ」を使用するか、プリンタを2台使用します。本書では、前面カセットと背面トレイのあるインクジェットプリンタと前面カセットと前面トレイのあるレーザープリンタについて説明します。

■ 前面カセットと背面トレイのあるインクジェットプリンタ ... CANON TS6130 等

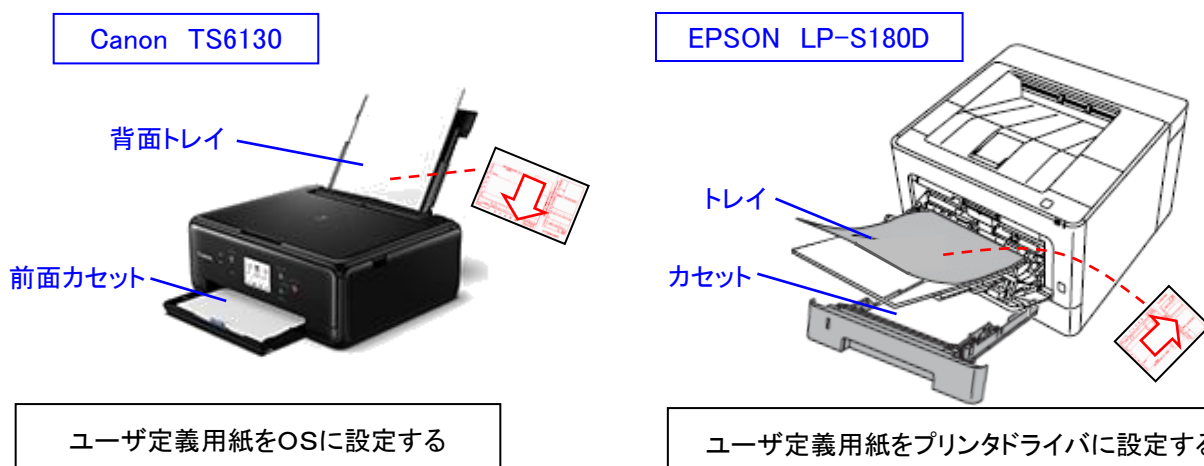
■ 前面カセットと前面トレイのあるレーザープリンタ EPSON LP-S180D 等

請求書の用紙（A4用紙 or B5用紙）はカセットにセットします。

郵便払込票はトレイにセットしますが、プリンタの仕様により、印刷方向が異なります

TS6130 の背面トレイで使用できる用紙 幅＝55mm～、長さ＝89mm～ ⇒ 用紙を横のまま印刷可能

LP-S180D のトレイで使用できる用紙 幅＝105mm～、長さ＝148mm～ ⇒ 用紙を縦にして印刷する



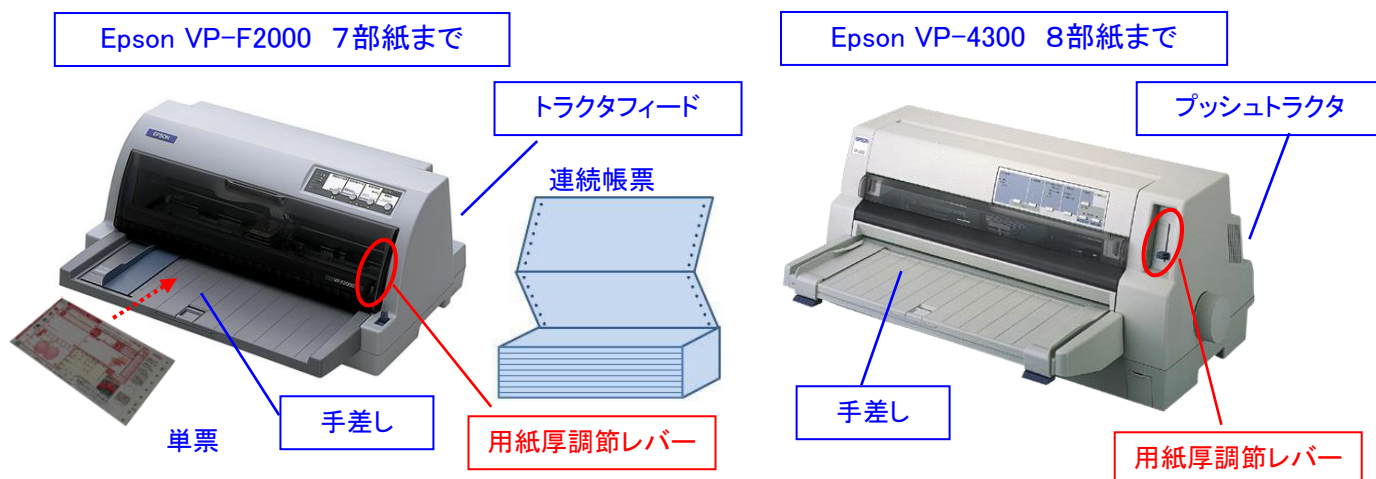
3. 2 ドットプリンタ

複写式の配送伝票は、5～7枚の用紙がセットになっていて、ドットピンで叩くように印刷することで、カーボンで下の用紙に写る仕組みになっています。

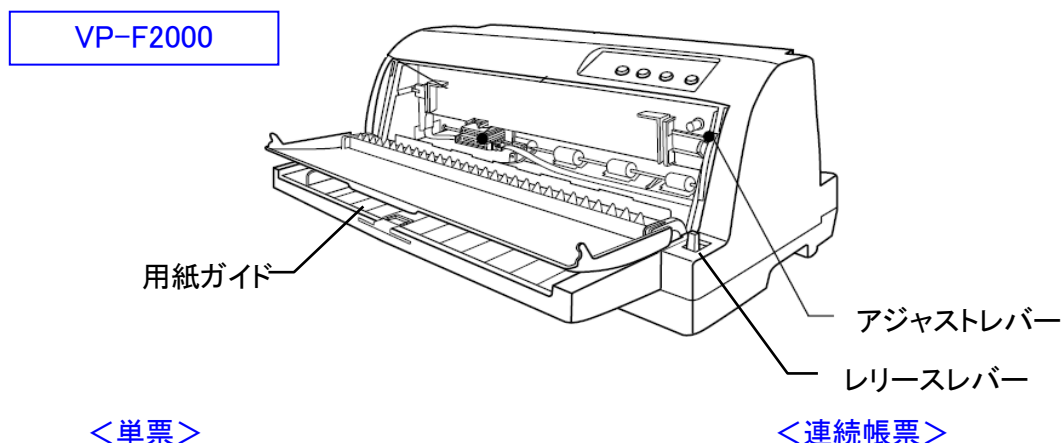
プリンタによって、印刷能力(どのくらいの枚数の用紙(部数)に印刷できるか)が異なります。

エプソンの VP-F2000 は7部紙まで、VP-4300 は8部紙まで印刷できます。

VP-F2000 は伝票に合わせて用紙の厚さをレバーで設定する必要がありますが、上位機種の VP-4300 は用紙の厚さを自動的に調整してくれる機能があります。



連続用紙は後ろから伝票の両端の穴(スプロケット)をトラクタ(用紙送り)に入れて、レバーで固定します。
単票は、手差しトレイ(用紙ガイド)に用紙を置いて、両手で押し込んでセットします。



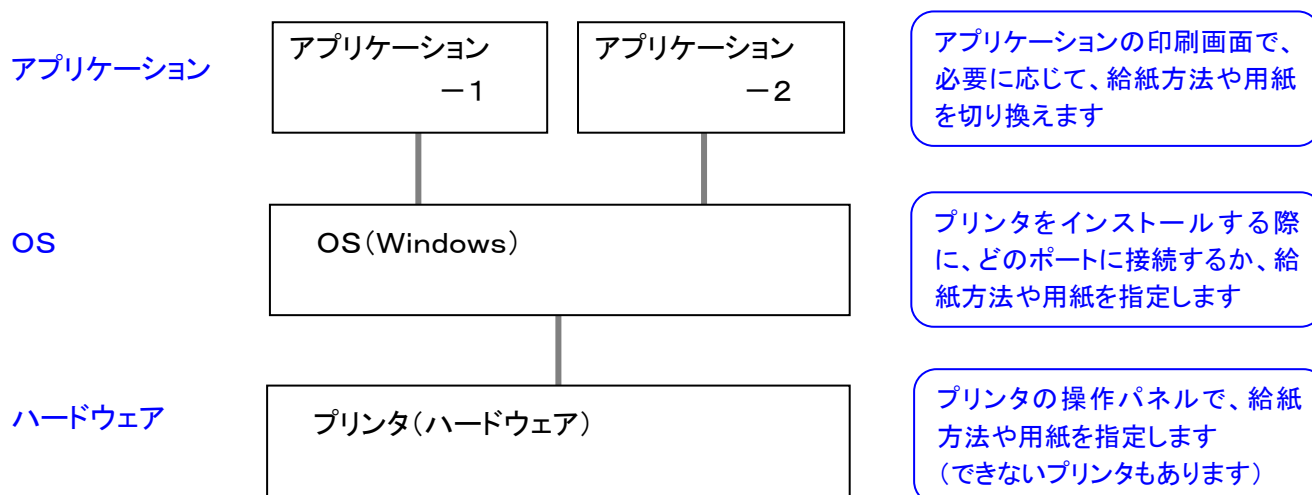
らくらく産地直販では帳票に合わせて自動的にプリンタ(給紙方法・用紙)を切り換えて印刷しますが、事前に、帳票ごとにプリンタ名を登録する必要があります。

プリンタの登録については、「取扱説明書(基本編)の5. 2項 伝票・プリンタの登録」を参照してください。

《注意》 Windows10 の WindowsUpdate により、プリンタの設定が初期化されてしまい、印刷できなくなることがあります。その場合は、プリンタの設定をやり直してください。

4. プリンタの制御のしくみ

「ハードウェア — OS — アプリケーション」の3階層で、プリンタの設定が行えます。



■OSレベルで、給紙方法や用紙を指定しておくことにより、その都度アプリケーションで切り換えなくても、所定の用紙に印刷することができます。手間がかからず、操作ミスもなくなります。

■ドットプリンタは、配送伝票専用にして、配送伝票毎に給紙方法と用紙サイズを設定します。

そうすることにより、用紙ジャム等でプリンタの電源を OFF→ON しても、設定し直す必要がありません。

■通常プリンタはプリンタの仕様に合わせて、「給紙方法と用紙サイズ」を設定する必要があります。

カセットとトレイを有するプリンタの場合は、「請求書」はカセットのA4用紙に印刷し、トレイで「はがき、封筒、郵便払込票」を印刷するように設定すると便利です。

前面カセット2段のプリンタも使用可能ですが、「はがき、封筒、郵便払込票」を印刷する場合は、その都度、プリンタのカセットのガイドを調整する必要があるため、あまりお勧めできません。(1種類であれば問題ありません)

5. プリンタのインストール

プリンタを使用できるようにするために、パソコンにプリンタドライバをインストールします。

詳細は、各プリンタの説明書(インストールマニュアル)を参照してください。

【補足A】「デバイスとプリンタ」(インストールされているプリンタ)を表示する手順

◇ Windows 7 Professional の場合

「スタート — デバイスとプリンタ」

◇ Windows 8 の場合

「スタート — デバイスとプリンタ」

◇ Windows10 Home/Pro の場合

「スタート — コントロールパネル — ハードウェアとサウンド — プリンタ」

「スタート — コントロールパネル(アイコン) — デバイスとプリンタ」

※ コントロールパネルをタスクバーに入れておくと便利です

「スタート — Windows システムツール — コントロールパネル」を選択し、

マウスを右クリックして、「その他 — タスクバーにピン留めする」をクリックする

《注意》プリンタのインストールは「administrator」権限のユーザで行う必要があります。

6. 用紙の定義

OSにユーザ定義用紙を登録する場合について説明します。

プリンタドライバに登録する場合は、プリンタの登録・設定の方で説明します。

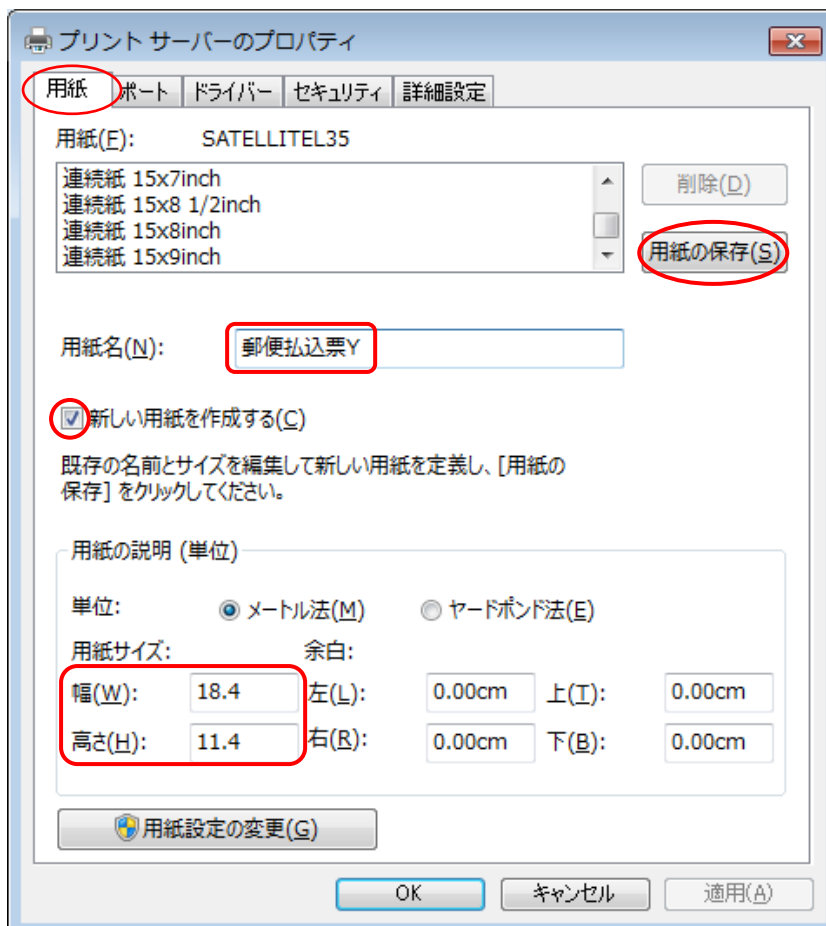
6. 1 郵便払込票の定義

(1)「コントロールパネル→デバイスとプリンタ」を開く

設定を行うプリンタ「TS6130」をクリックし、ツールバーの「プリントサーバプロパティ」をクリックします。



(2)「用紙」タブをクリックし、「新しい用紙を作成する」にチェックして、用紙名に「郵便払込票 Y」と入力し、用紙サイズの幅＝「18.4cm」、高さ＝「11.4cm」と入力して、[用紙の保存]をクリックします。



(3) [用紙の保存]をクリックすると、用紙が登録され、下記のような画面が表示されます。

プリント サーバーのプロパティ

用紙 ポート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙(E): SATELLITEL35

封筒洋形 2 号 横置き 162 x 114 mm
封筒洋形 5 号 横置き 217 x 95 mm
郵便払込票Y
連続紙 12x1 5/6inch

削除(D)

用紙の保存(S)

用紙名(N): 郵便払込票Y

☐ 新しい用紙を作成する(C)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存] をクリックしてください。

用紙の説明 (単位)

単位: ☒ メートル法(M) ☐ ヤードポンド法(E)

用紙サイズ: 余白:

幅(W): 18.40cm 左(L): 0.00cm 上(T): 0.00cm
高さ(H): 11.40cm 右(R): 0.00cm 下(B): 0.00cm

用紙設定の変更(G)

閉じる キャンセル 適用(A)

(4) [閉じる]をクリックすると、「デバイスとプリンタ」の画面に戻ります。

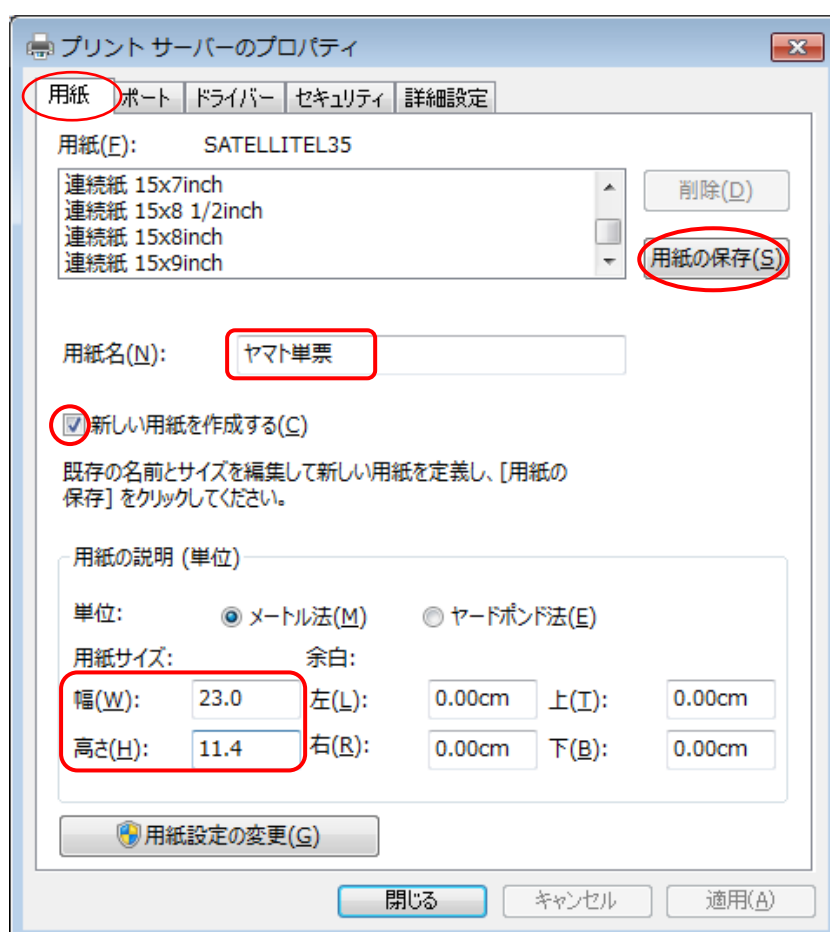
6. 2 配送伝票：ヤマト単票の定義

(1)「コントロールパネルーデバイスとプリンタ」を開く

設定を行うプリンタ「VP-F2000」をクリックし、ツールバーの「プリントサーバプロパティ」をクリックします。



(2)「用紙」タブをクリックし、「新しい用紙を作成する」にチェックして、用紙名に「ヤマト単票」と入力し、用紙サイズの幅＝「23.0cm」、高さ＝「11.4cm」と入力して、[用紙の保存]をクリックします。



(3) [用紙の保存]をクリックすると、用紙が登録され、下記のような画面が表示されます。

プリント サーバーのプロパティ

用紙 ポート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙(E): SATELLITEL35

スクエア 127x127mm
はがき
はがき 横
ヤマト単票

削除(D) 用紙の保存(S)

用紙名(N): ヤマト単票

☒ 新しい用紙を作成する(C)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存]をクリックしてください。

用紙の説明 (単位)

単位: ☒ メートル法(M) ☐ ヤードポンド法(E)

用紙サイズ: 余白:

幅(W): 23.00cm 左(L): 0.00cm 上(I): 0.00cm
高さ(H): 11.40cm 右(R): 0.00cm 下(B): 0.00cm

用紙設定の変更(G)

閉じる キャンセル 適用(A)

(4) [閉じる]をクリックすると、「デバイスとプリンタ」の画面に戻ります。

7. 通常プリンタの登録・設定

配送伝票以外の帳票として下記の8種類があり、帳票ごとに印刷するプリンタを登録します。

- ① 通常帳票(注文票、注文一覧、顧客一覧、商品一覧、集計表など、A4普通紙)
- ② 宛名ラベル(A4ラベル紙)
- ③ はがき(宛名面)
- ④ 封筒(長形3号)
- ⑤ 伝票#1 : 請求書(A4普通紙)
 : 請求書+郵便払込票 (一緒に印刷)
- ⑥ 伝票#2 : 納品書・領収書等(A4普通紙) など
- ⑦ 伝票#3 : 郵便払込票(横 180mm×縦 114mm)
- ⑧ 伝票#4 : 請求書、代引用納品書など
- ⑨ 案内状・申込書(A4普通紙)

Lite 版の場合、⑤・⑥・⑦は固定になります。⑧～⑨は未サポート。

EX/Premium 版の場合は、伝票#1～4まで自由に設定可能。但し⑦に郵便払込票を設定します

2種類の帳票、例えば、請求書(A4用紙)と郵便払込票(180x114mm)を印刷する場合は、2 つ以上の用紙給紙のあるプリンタを接続するか、2台のプリンタを接続します。

郵便払込票は、特殊な用紙サイズなので、「ユーザ定義用紙」を登録します。

<ユーザ定義用紙の設定方法>

プリンタドライバに用意されていない用紙サイズに印刷する場合、「A. OSにユーザ定義の用紙サイズを設定する方法」と「B. プリンタドライバにユーザ定義サイズを設定する方法」があります。

「TS6130」の場合は、Aの方法で …… 7. 1. 3 参照

「LP-S180D」の場合は、Bの方法で … 7. 2. 3 参照

ユーザ定義サイズを設定します。

昔の単純なプリンタの場合は、用紙サイズを登録しなくても、A4用紙の一部分を印刷するイメージで、任意の用紙サイズに印刷できましたが、最近のプリンタは厳格に用紙サイズをチェックしているようです。

従って、用紙サイズを正しく登録する必要があります。

7. 1 前面カセットと背面トレイのプリンタ

CANONのTS-6130は、前面カセットと背面トレイがあるので、前面カセットでA4用紙を、背面トレイではがき、封筒、郵便払込票を印刷するように設定します。

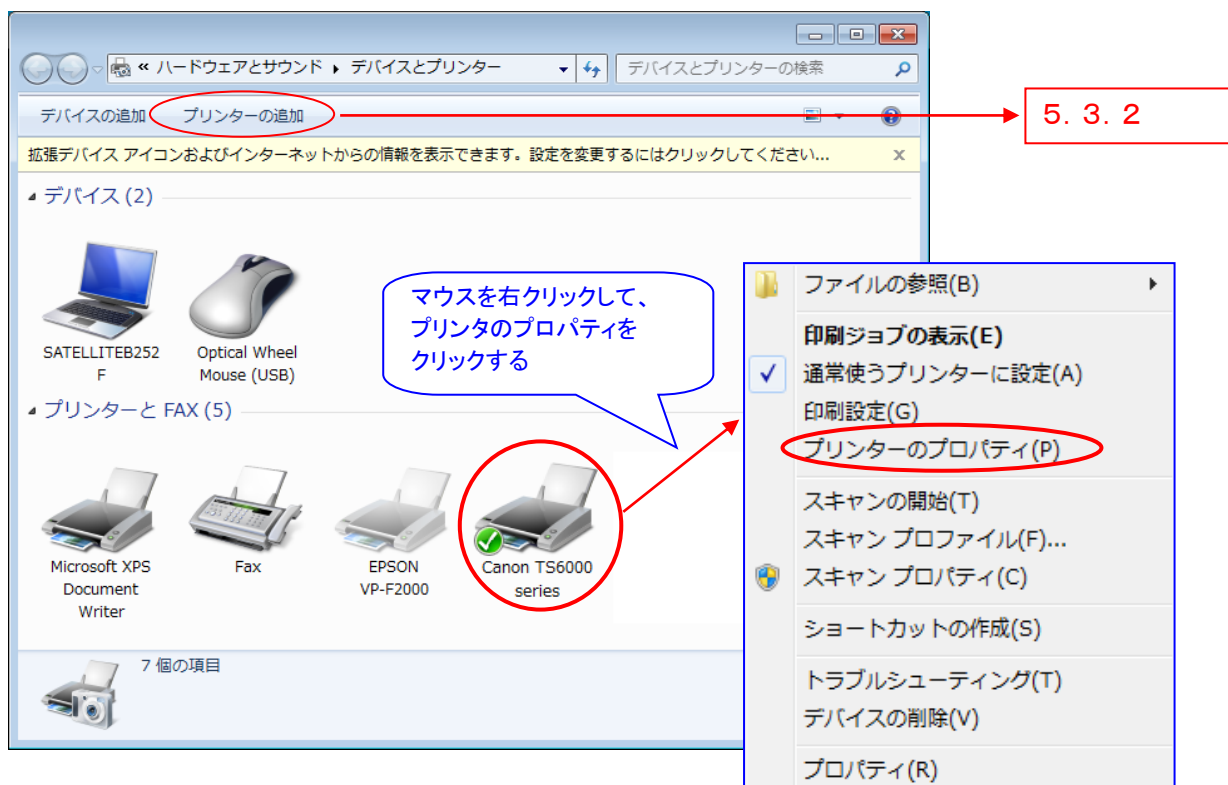
iP4300 (PM500)の背面ASFは右側合わせなのに対して、TS-6130の背面トレイは中央合わせのため、用紙サイズをきちんと設定する必要があります。はがきや郵便払込票を印刷する場合、iP4300ではA4用紙の一部として印刷することも可能でしたが、TS-6130では用紙サイズを正確に指定する必要があります。

はがきはプリンタのプロパティで選択できますが、郵便払込票は特殊なサイズなので「ユーザ定義」をします。

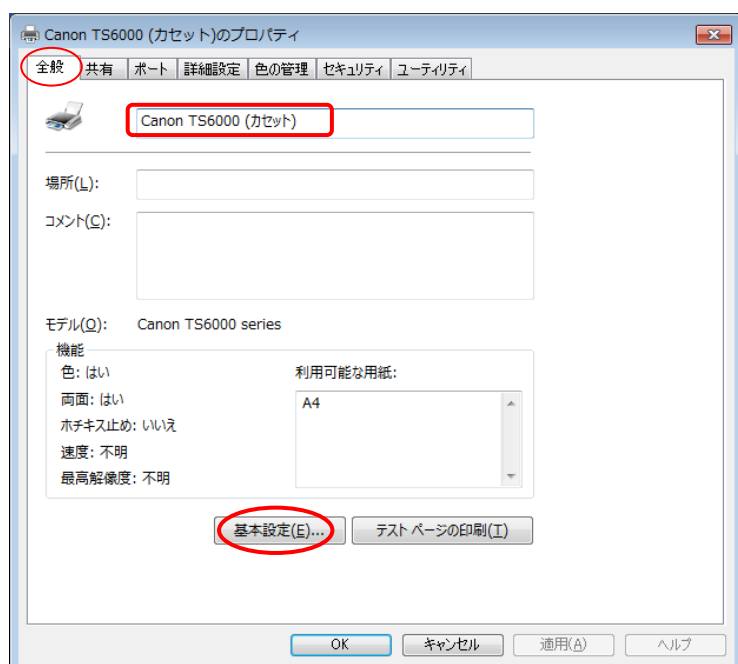
7. 1. 1 既設のプリンタを「カセット」に設定する

「スタート-デバイスとプリンタ」からプリンタのアイコンを表示する。(4ページの【補足A】参照)

① プリンタのアイコンを選択して、マウスの右ボタンをクリックして、「プリンタのプロパティ」をクリックする。

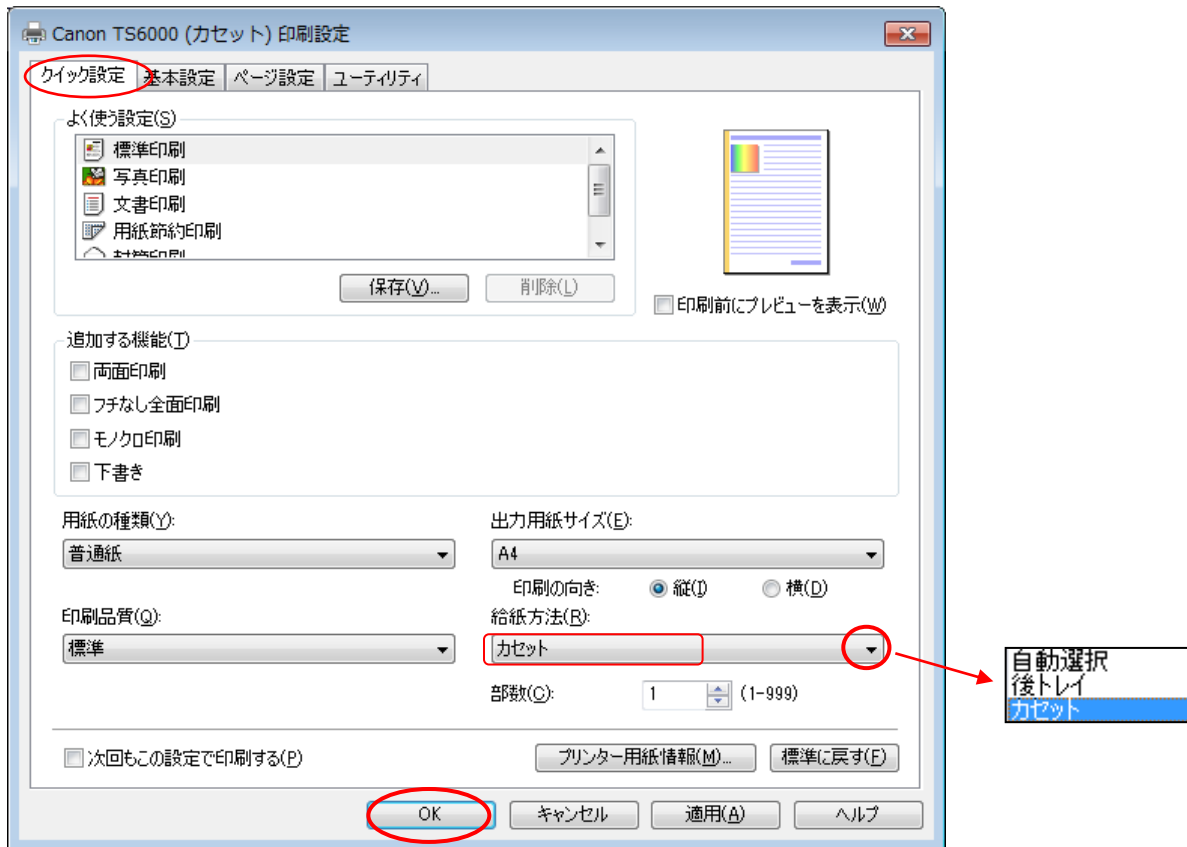


② プリンタ名を「Canon TS6000(カセット)」とし、「全般」タブの[基本設定]をクリックする。



③ 「給紙方法」を「カセット」に設定する

[クイック設定]をクリックして、給紙方法を「カセット」に設定する



《注意》 必要に応じて、用紙の種類、出力用紙サイズ、印刷品質を設定します。
(例えば、はがきの場合インクジェット用にするなど)

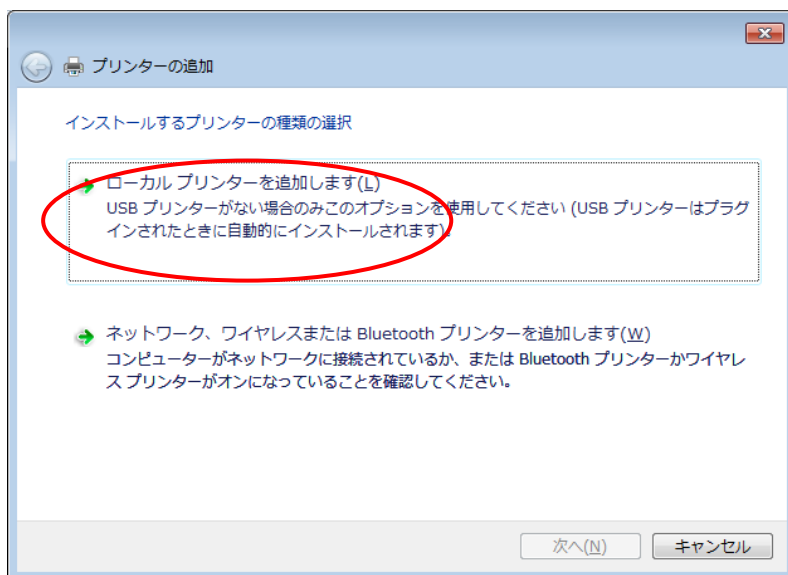
④ [OK]をクリックすると印刷設定の画面が閉じられ、プロパティの画面に戻る。

⑤ [OK]をクリックすると、「デバイスとプリンタ」の画面に戻る。

7. 1. 2 もう1台のプリンタを追加して、「後トレイ」に設定する

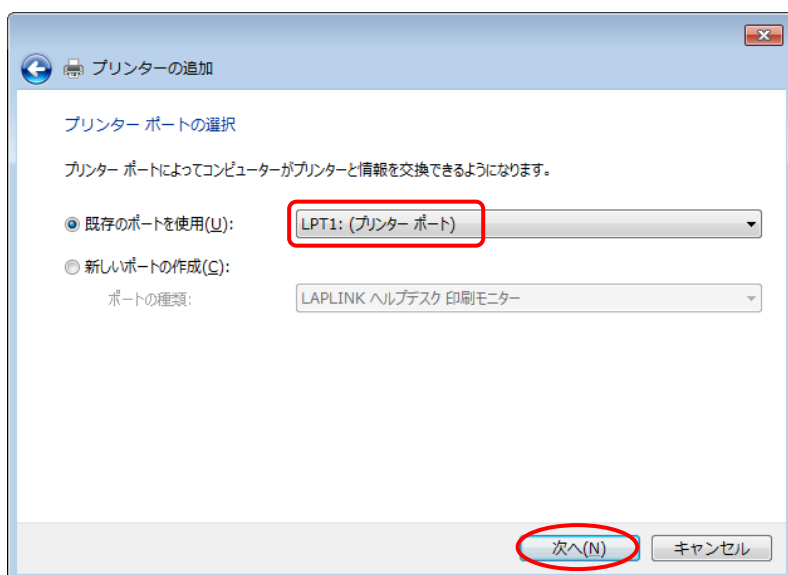
(1) プリンタの追加 <Windows7の場合>

①【デバイスとプリンタ】の「プリンタの追加」をクリックする。

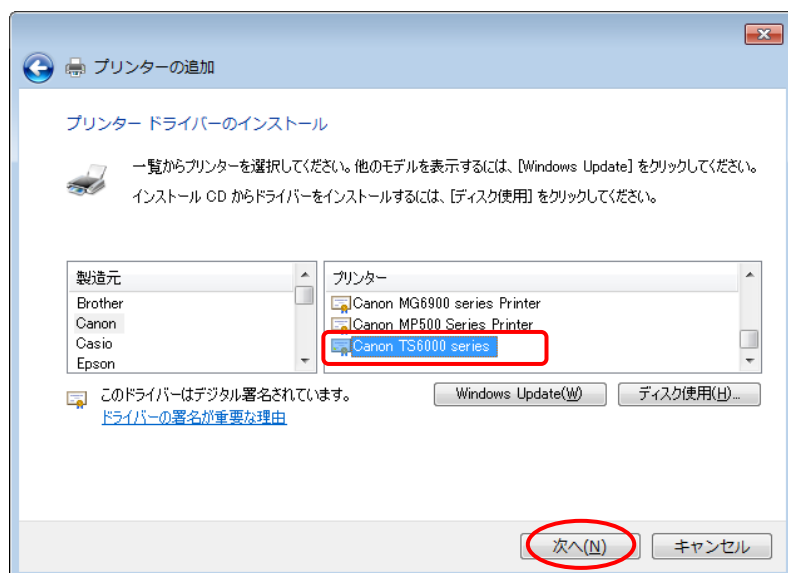


既に1度、プリンタをインストール済みなので、自動インストールはできない
マニュアル操作で追加する

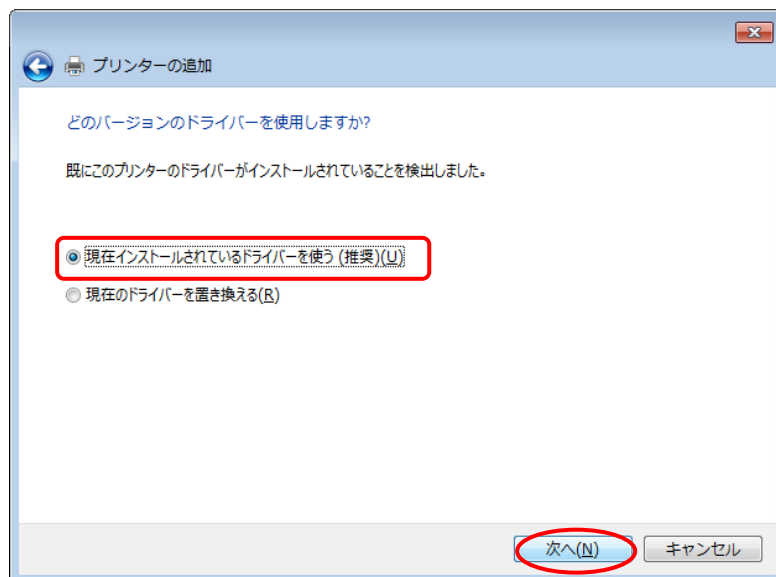
② 既存のポート「LPT1」(仮のポート)を選択して[次へ]をクリックする



④ 該当するプリンタ「CanonTS6000 Series」を選択して[次へ]をクリックする



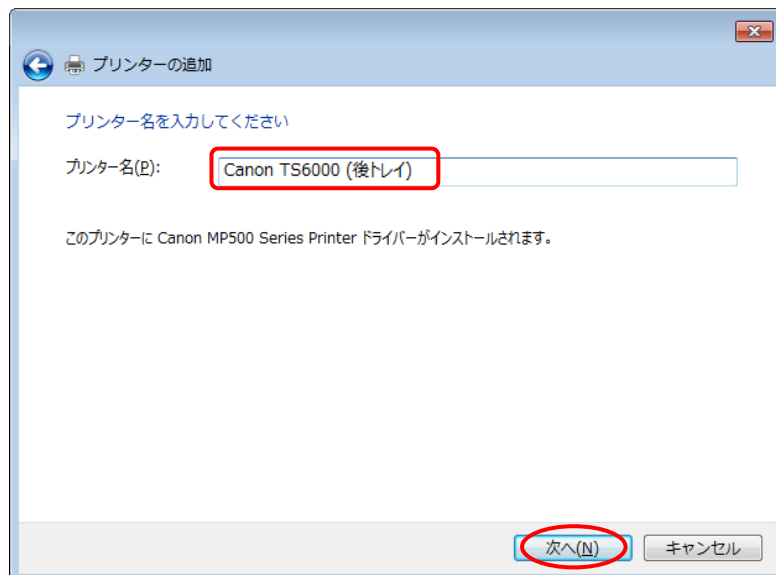
- ⑤ 「現在インストールされているドライバを使う」にチェックして[次へ]をクリックする



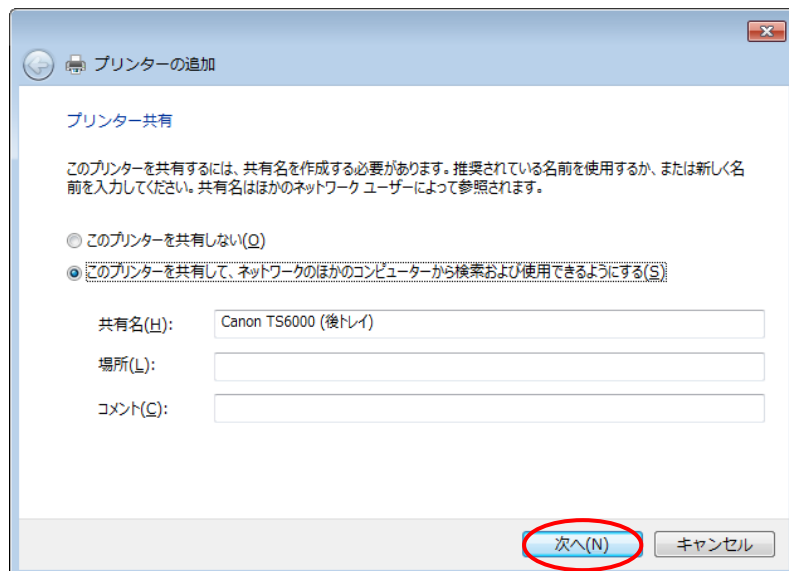
プリンタの接続ポートを指定する
(例. USB2)

- ⑥ ドライバがインストールされる

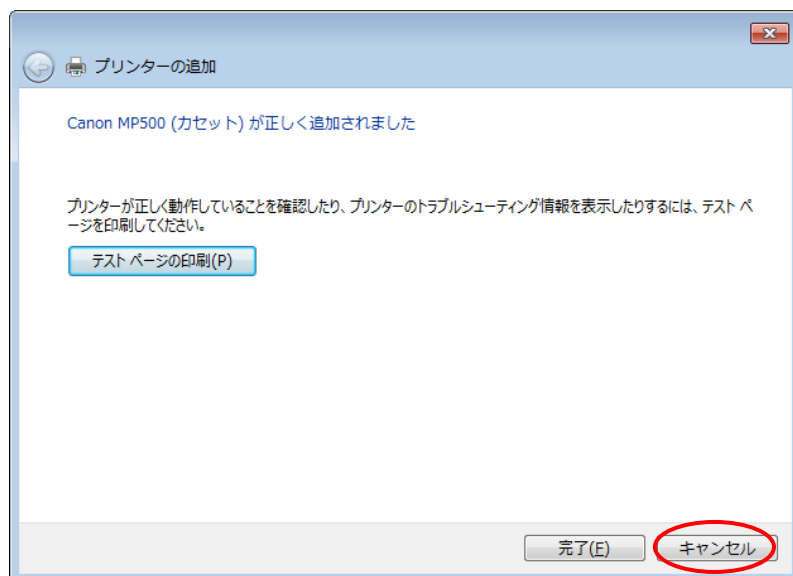
- ⑦ プリンタ名を「Canon TS6000 (後トレイ)」に変更して[次へ]をクリックする。



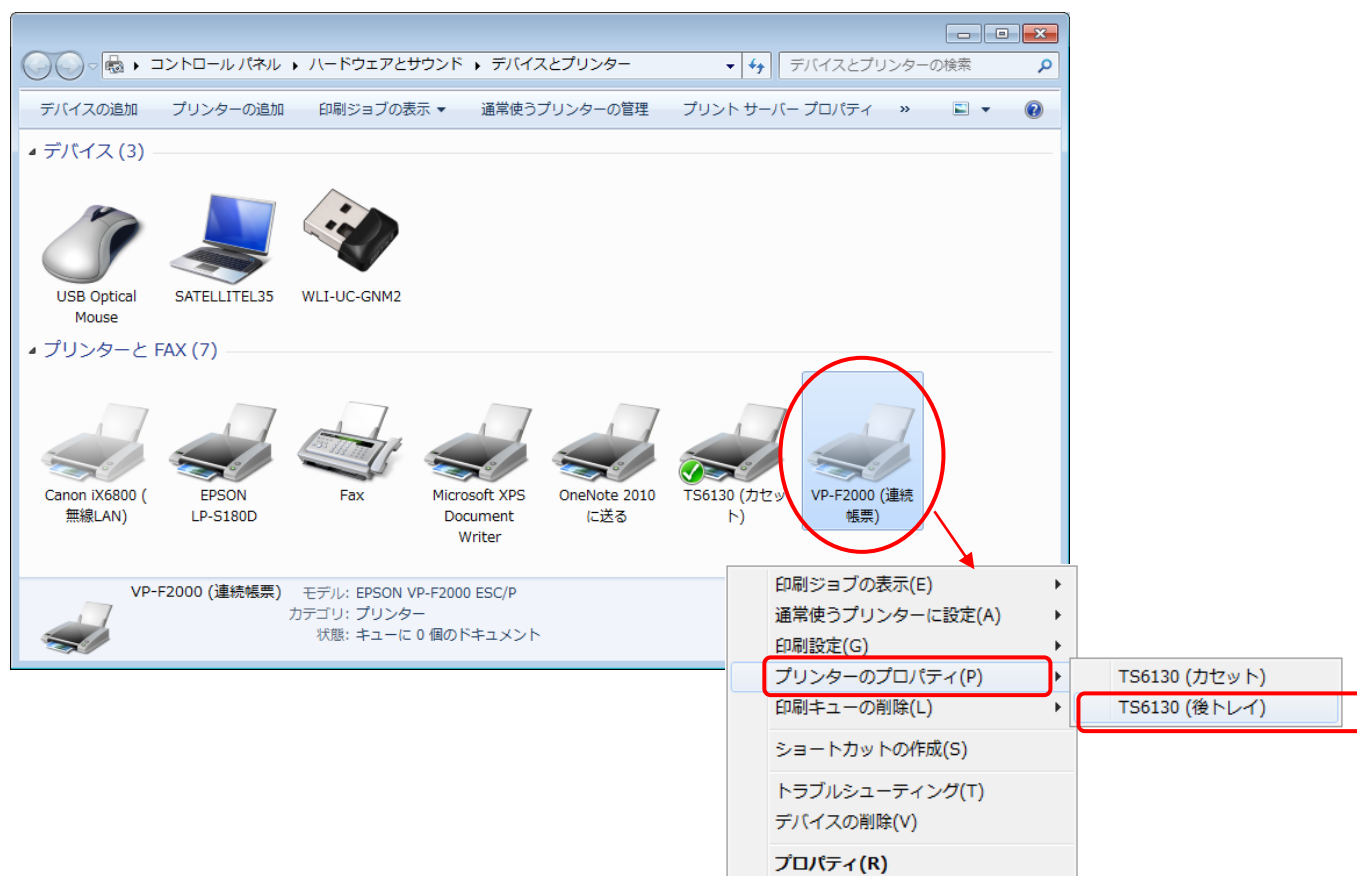
- ⑧ プリンタの共用(ネットワークで共有する場合は共有するに)を指定して[次へ]をクリックする



⑨ [テストページの印刷]をクリックして印刷されることを確認する



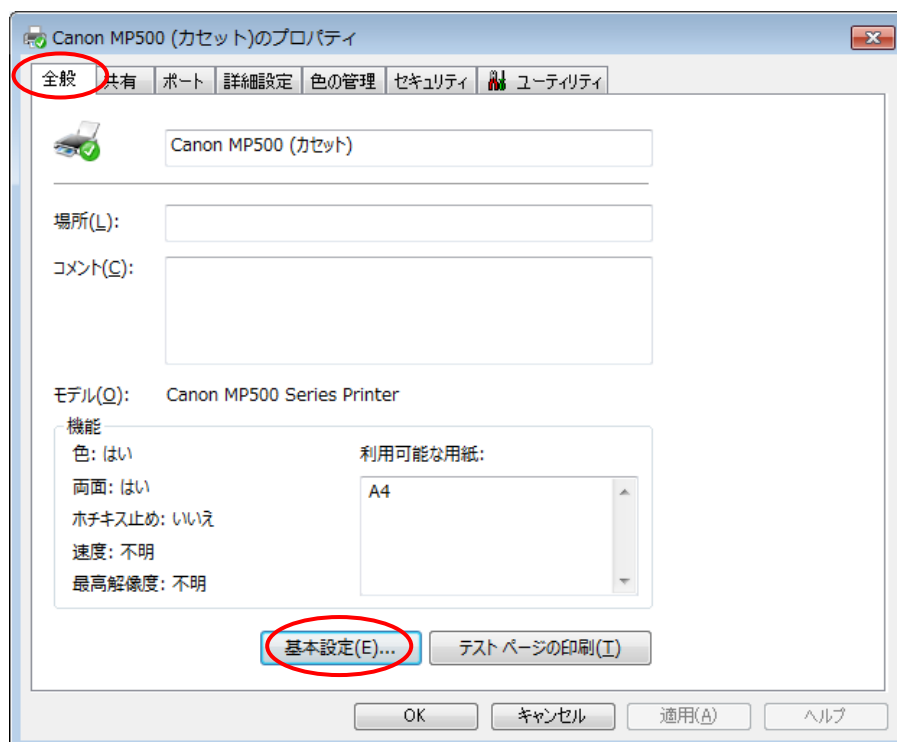
⑩ [完了]をクリックすると「デバイスとプリンタ」に戻り新しいプリンタのアイコンが追加される。



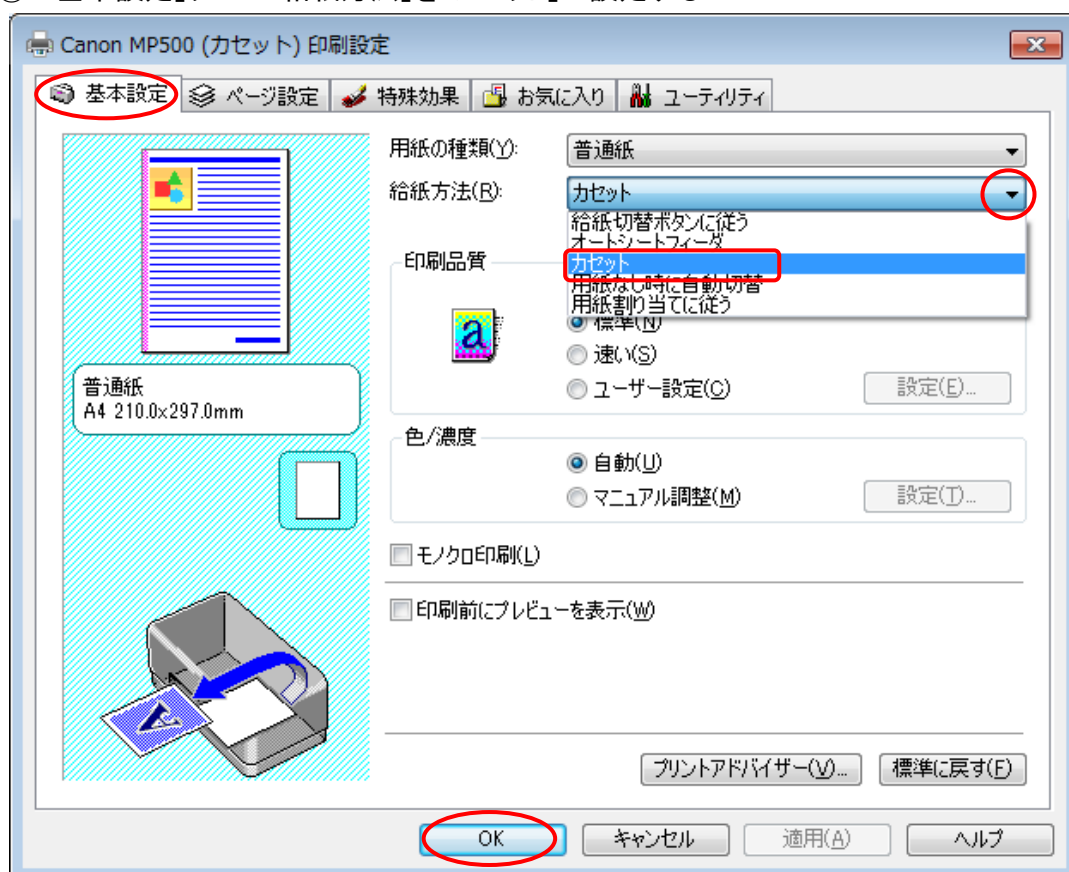
⑪ 新しく登録したプリンタのアイコンをクリックする

マウスの右ボタンをクリックして、「プリンタのプロパティ」をクリックする。

⑫ 「全般」の[基本設定]をクリックする



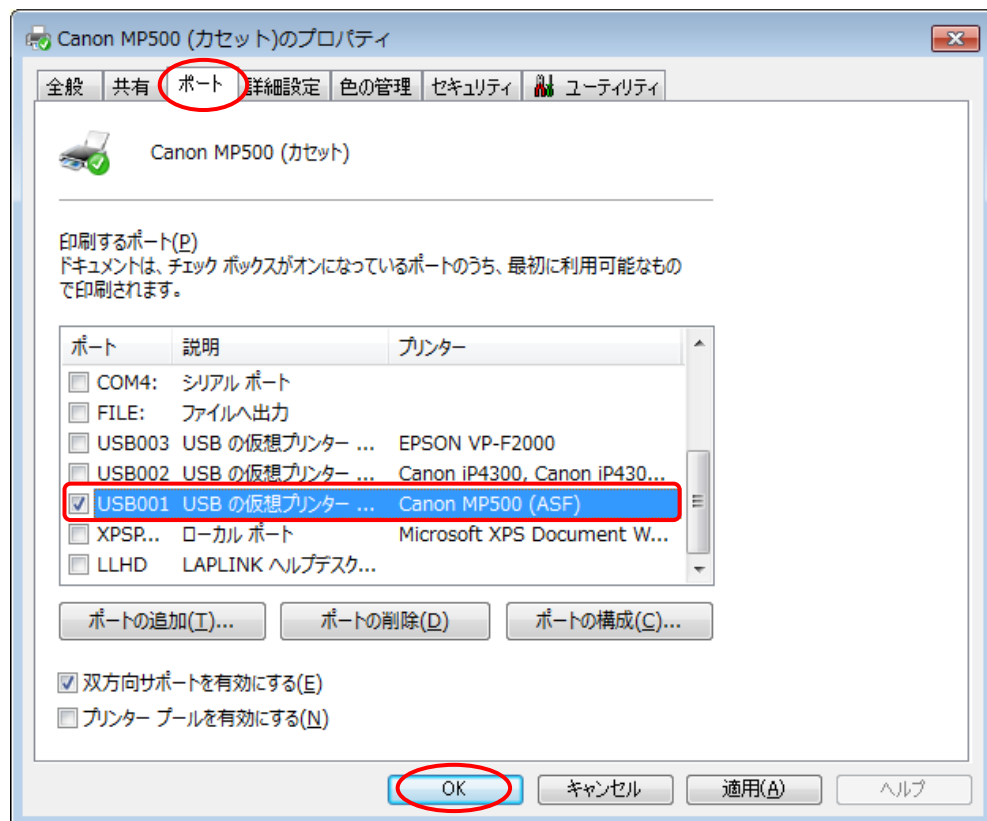
⑬ 「基本設定」タブの「給紙方法」を「カセット」に設定する



《注意》 必要に応じて、用紙の種類、印刷品質、用紙の種類（普通紙／インクジェット用など）も設定します。（例えば、はがきの場合インクジェット用にする）

⑭ [OK]をクリックするとプリンタのプロパティ画面に戻る

- ⑮ 「ポート」タブをクリックして、ポートを MP500 が接続されているUSBポートに変更する。



- ⑯ [OK]をクリックすると、デバイスとプリンタの画面に戻る。

- ⑰ 「デバイスとプリンタ」の画面の右上の[×]をクリックして、画面を閉じる

- ⑱ 再度、「デバイスとプリンタ」の画面を表示すると、「MP500 (ASF)」と「MP500 (カセット)」が1つのアイコンにまとめられている。マウスの右ボタンをクリックして、プリンタのプロパティを見ると、2つのプリンタがあることがわかる。(同じポートなので1つにまとめられる)



7. 2 前面カセットと前面トレイのプリンタ

EPSONのLP-S180Dは、前面カセットと前面トレイがあるので、前面カセットでA4用紙を、前面トレイで郵便払込票を印刷するように設定します。

LP-S180Dのトレイは中央合わせで、用紙サイズを正確に指定する必要があります。

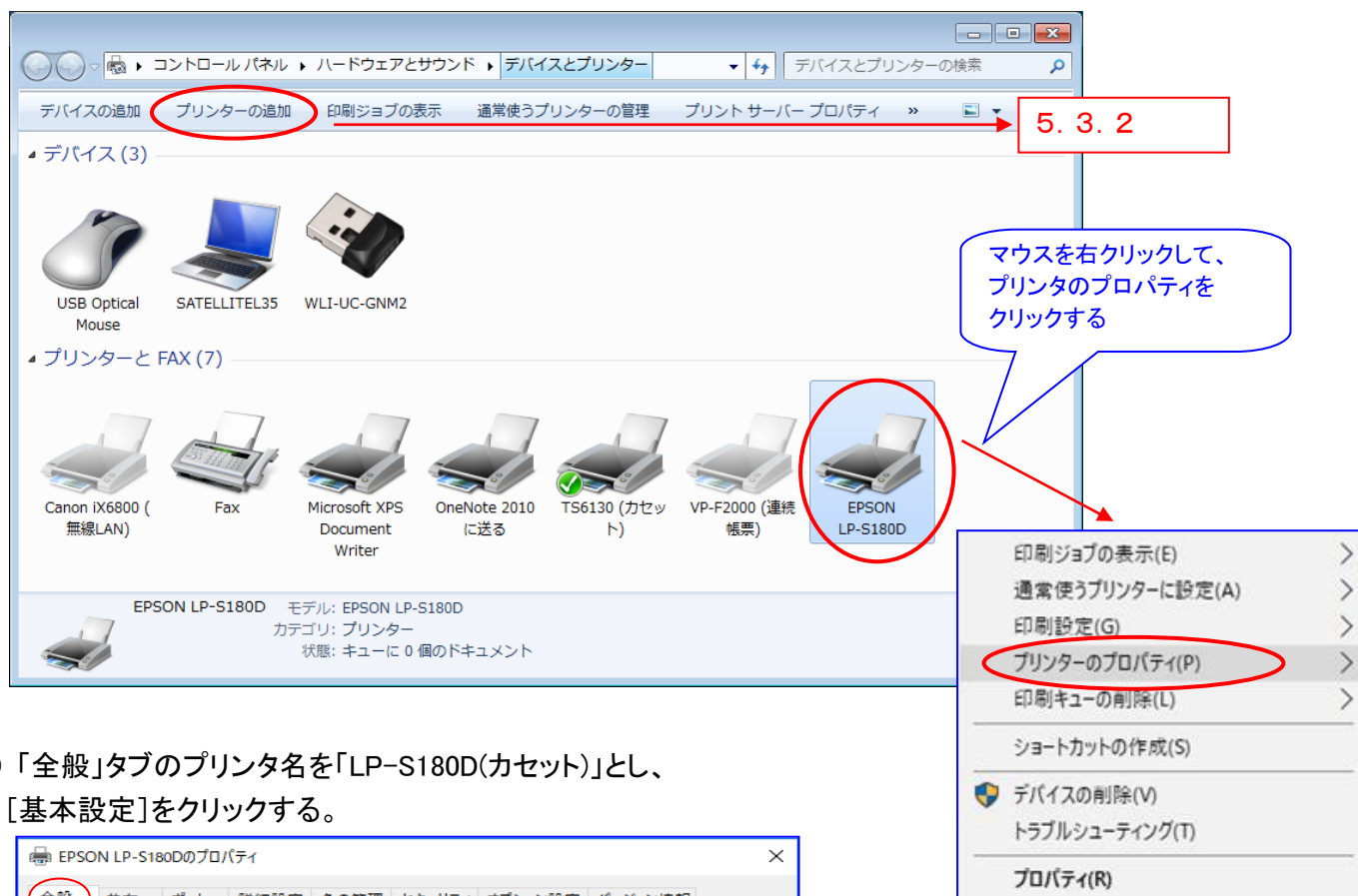
郵便払込票は特殊なサイズなので「ユーザ定義用紙」を設定します。

Windows10の設定手順で説明します。

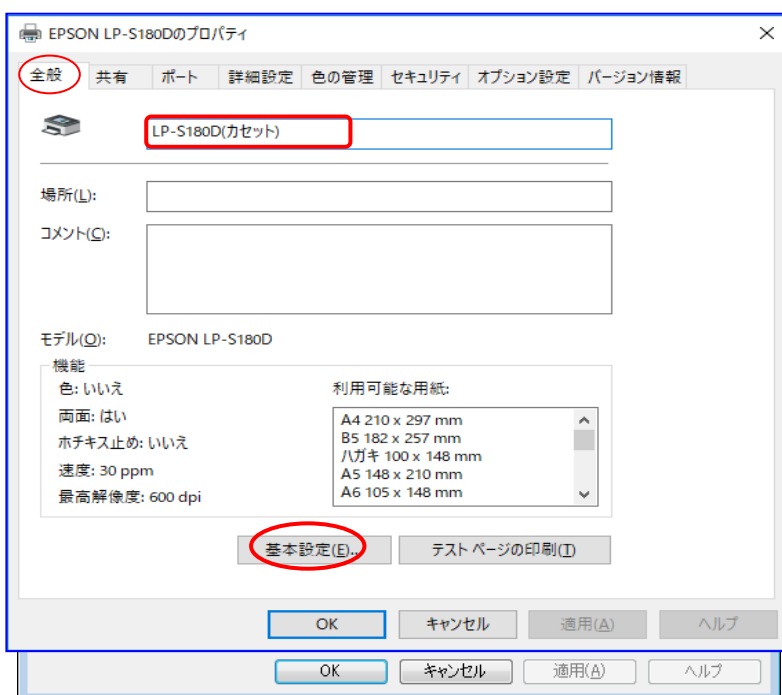
7. 2. 1 既設のプリンタを「カセット」に設定する

「スタート>デバイスとプリンタ」からプリンタのアイコンを表示する。(4ページの【補足A】参照)

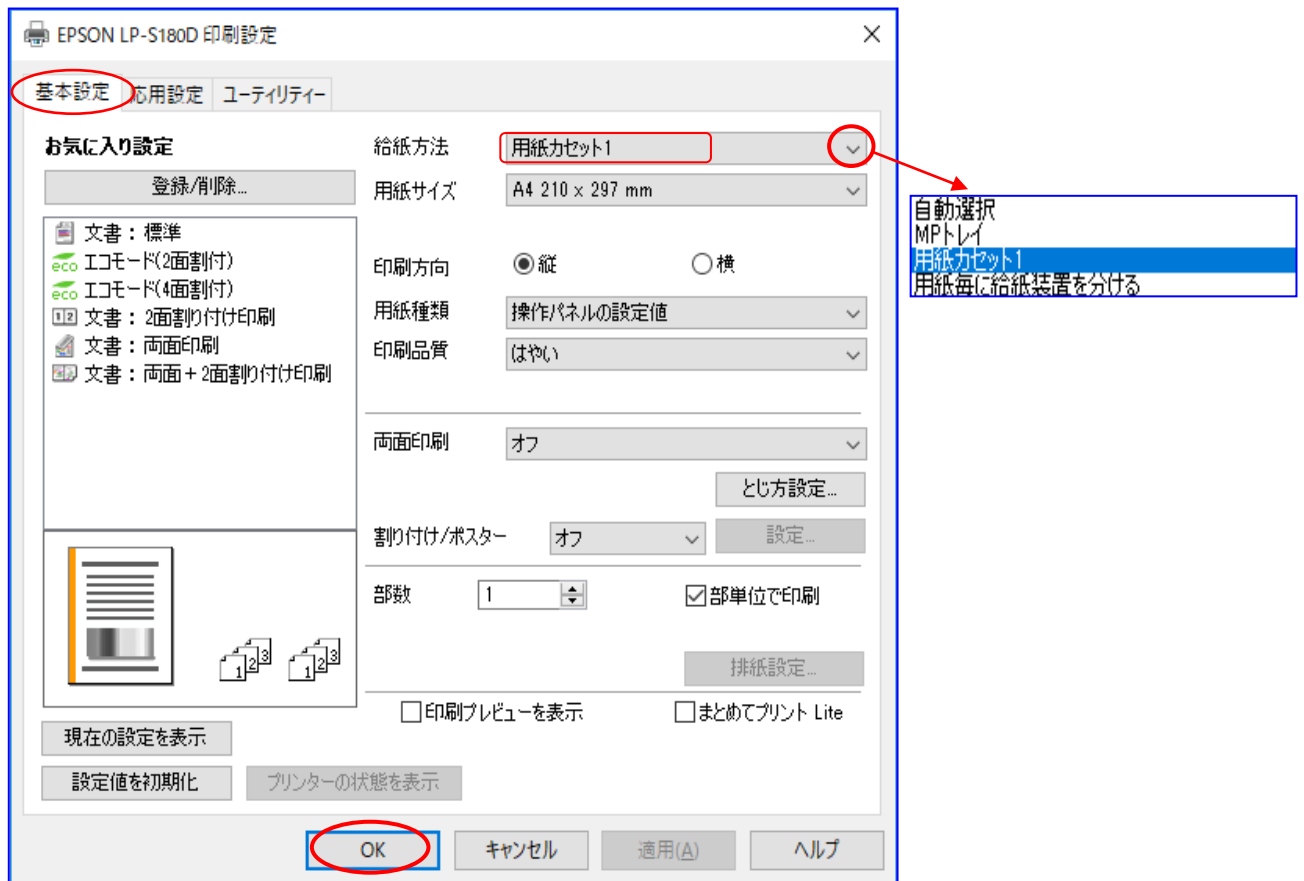
① LP-S180D のアイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックして、「プリンタのプロパティ」をクリックする。



② 「全般」タブのプリンタ名を「LP-S180D(カセット)」とし、[基本設定]をクリックする。



③ 「給紙方法」＝「用紙カセット 1」、用紙サイズ＝A4」に設定する



《注意》 必要に応じて、用紙の種類、出力用紙サイズ、印刷品質を設定します。
(例えば、はがきの場合インクジェット用にするなど)

④ [OK]をクリックすると印刷設定の画面が閉じられ、プロパティの画面に戻る。

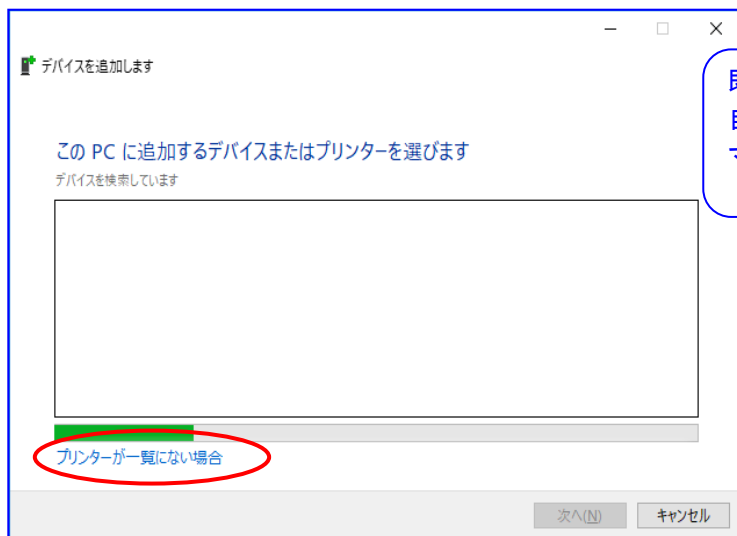
⑤ [OK]をクリックすると、「デバイスとプリンタ」の画面に戻る。

7. 2. 2 もう1台のプリンタを追加して、「トレイ」に設定する

(1) プリンタの追加 <Windows10の場合>

①【デバイスとプリンタ】の「プリンタの追加」をクリックする。

②「プリンタが一覧にない場合」をクリックする

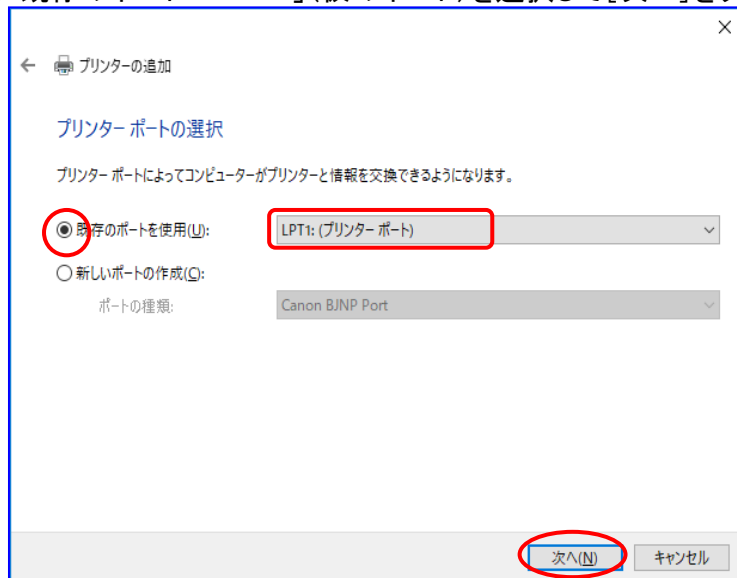


既にプリンタをインストール済みなので、
自動インストールはできない
マニュアル操作で追加する

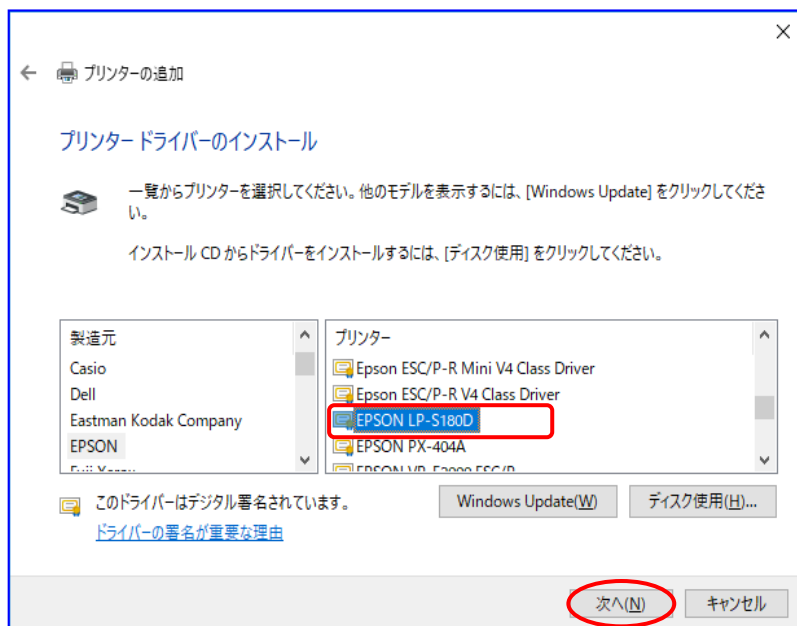
③ 「ローカルプリンタ...を手動設定で追加する」にチェックして[次へ]をクリックする



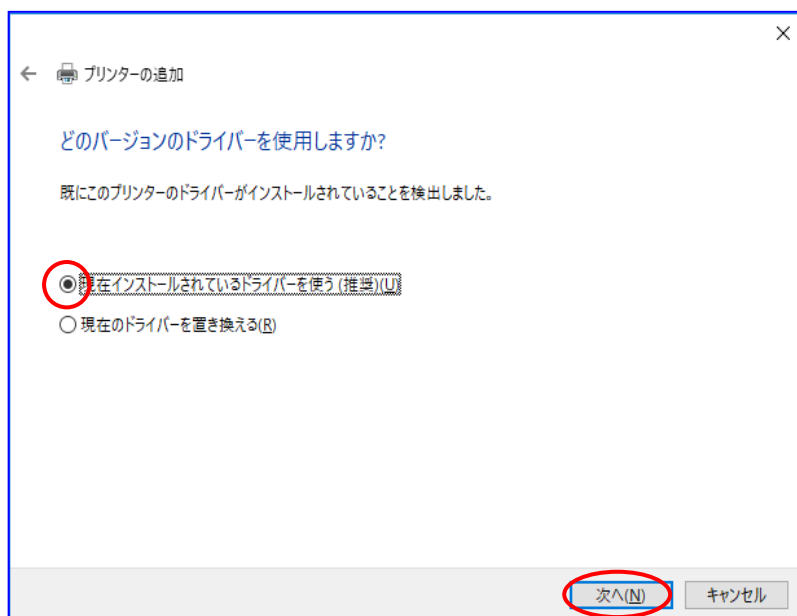
④ 既存のポート:「LPT1」(仮のポート)を選択して[次へ]をクリックする



- ⑤ 該当するプリンタ「EPSON LP-S180D」を選択して[次へ]をクリックする

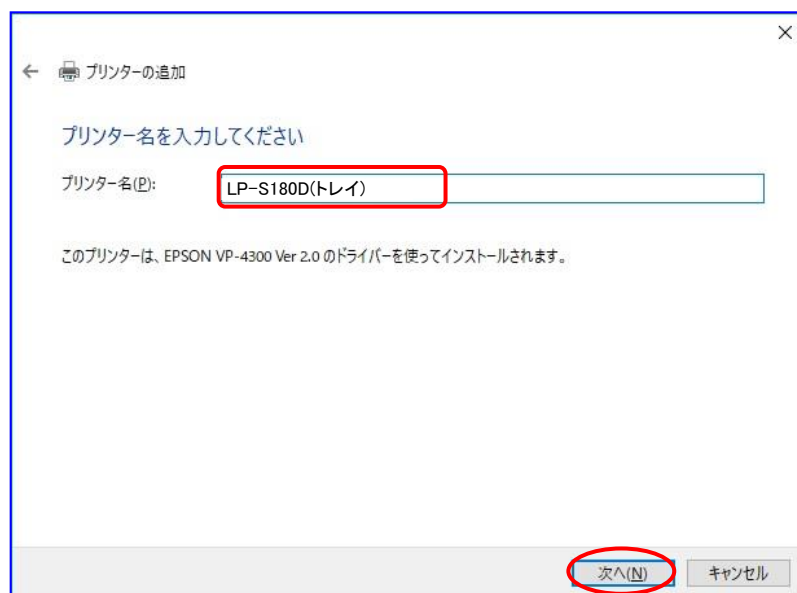


- ⑥ 「現在インストールされているドライバを使う」にチェックして[次へ]をクリックする

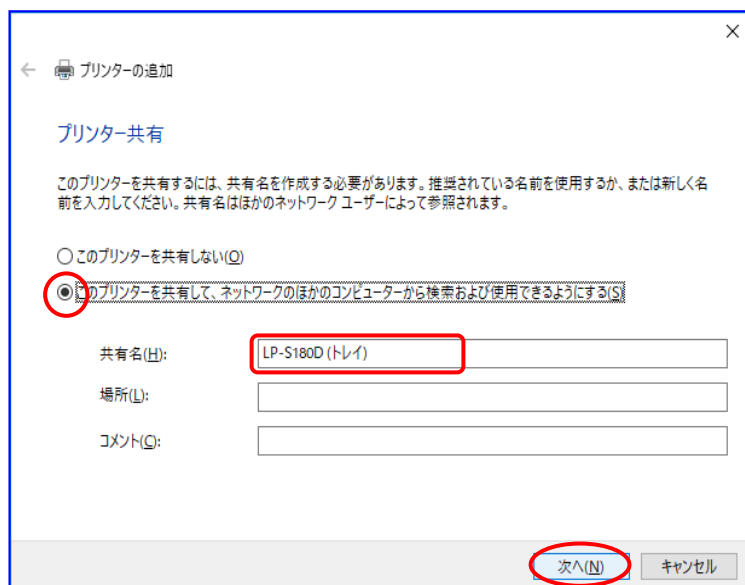


プリンタの接続ポートを指定する
(例. USB2)

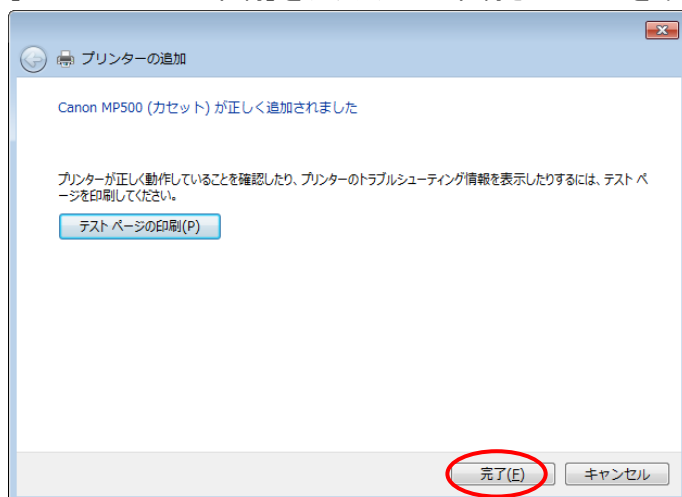
- ⑦ プリンタを共有するにチェックし、プリンタ名を「LP-S180D (トレイ)」に変更して[次へ]をクリックする。



- ⑧ プリンタの共有(ネットワークで共有する場合は共有するに)を指定して[次へ]をクリックする



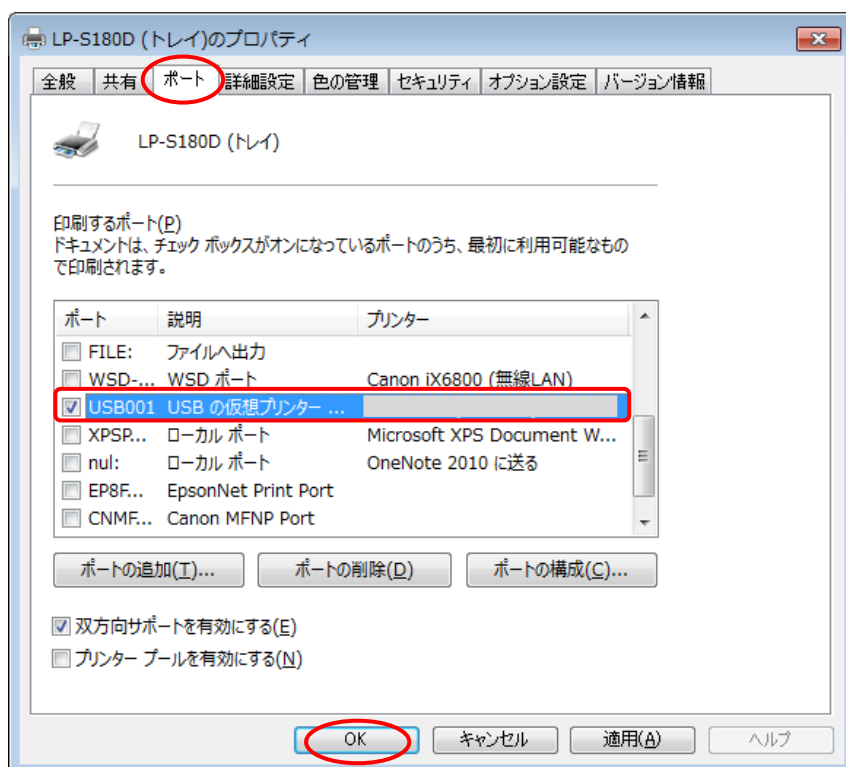
- ⑨ [テストページの印刷]をクリックして印刷されることを確認する



- ⑩ [完了]をクリックすると「デバイスとプリンタ」に戻り新しいプリンタのアイコンが追加される。



- ② 新しく登録したプリンタ「LP-S180D (トレイ)」のアイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックして、「プリンタのプロパティ」をクリックする。
- ⑬ 「ポート」タブをクリックして、ポートを LP-S180D が接続されているUSBポートに変更する。

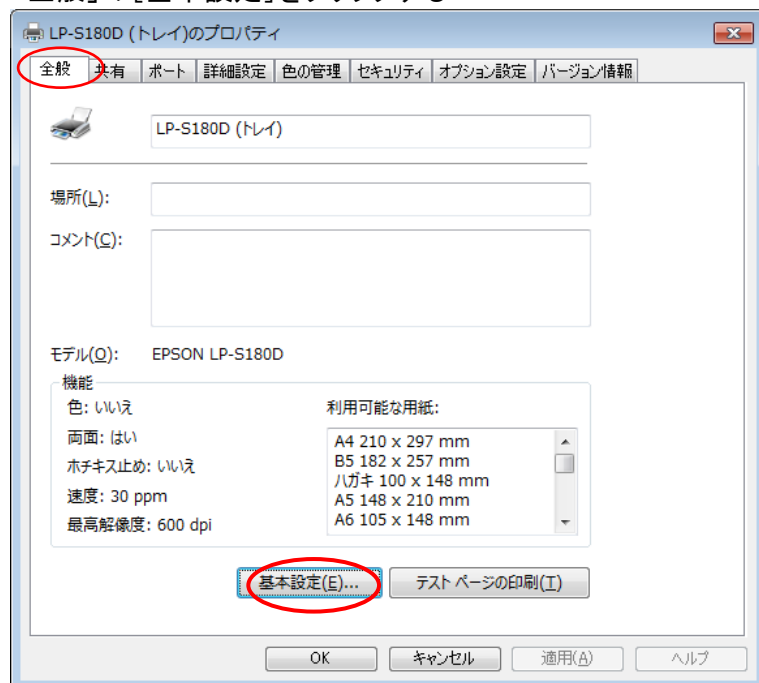


- ⑭ [OK]をクリックすると「デバイスとプリンタ」の画面に戻る。
- ⑮ 「デバイスとプリンタ」の画面の右上の[×]をクリックして、画面を閉じる
- ⑯ 再度、「デバイスとプリンタ」の画面を表示すると、「LP-S180D (トレイ)」と「LP-S180D (カセット)」が1つのアイコンにまとめられている。マウスの右ボタンをクリックして、プリンタのプロパティを見ると、2つのプリンタがあることがわかる。(同じポートなので1つにまとめられる)

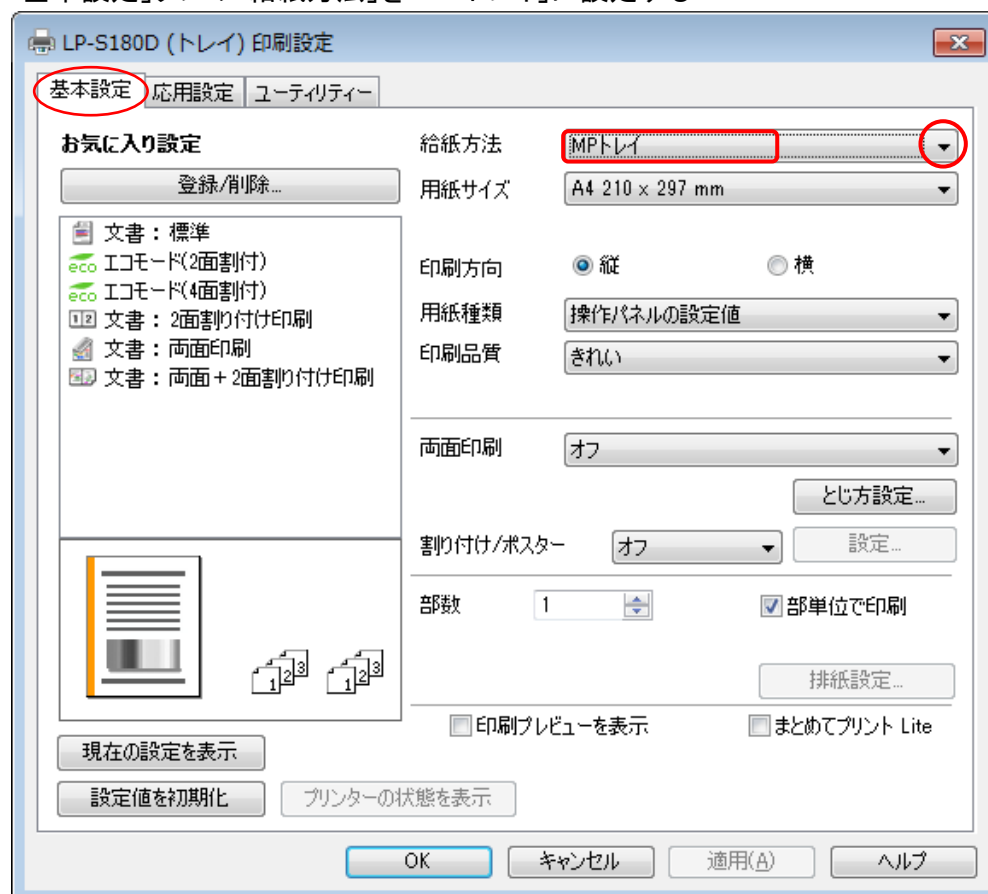


7. 2. 3 郵便払込票を設定する

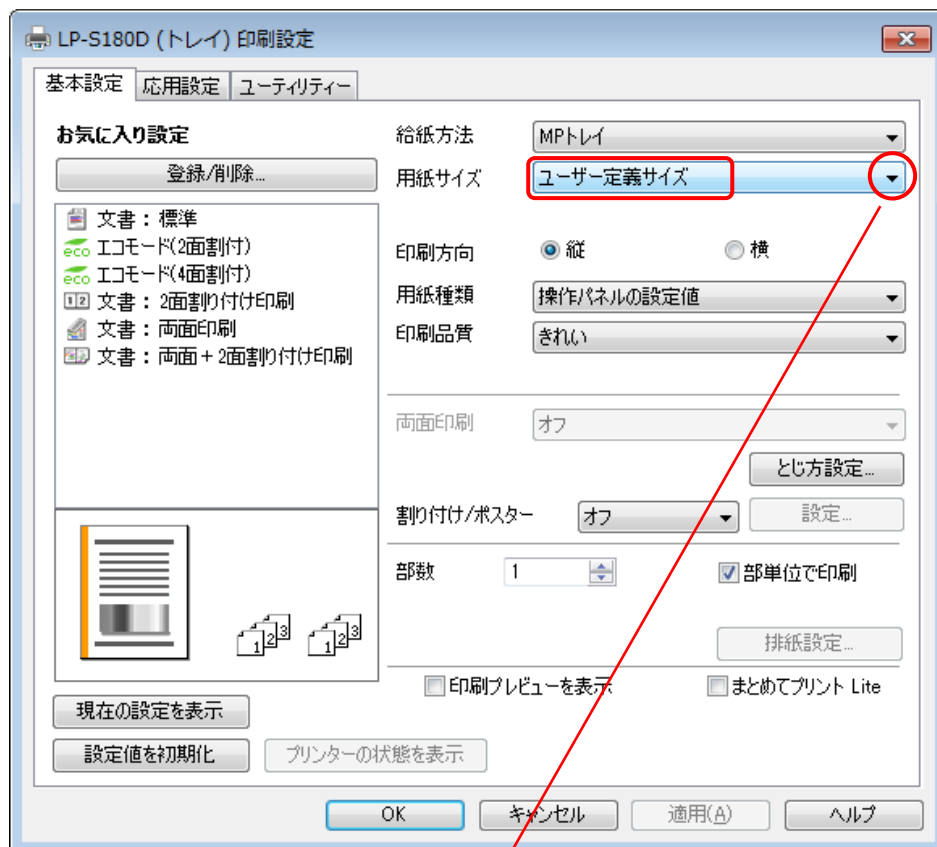
- ① 「デバイスとプリンタ」を開く ⇒ [【補足A】参照](#)
- ② 新しく登録したプリンタ「LP-S180D(トレイ)」のアイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックして、「プリンタのプロパティ」をクリックする。
- ③ 「全般」の[基本設定]をクリックする



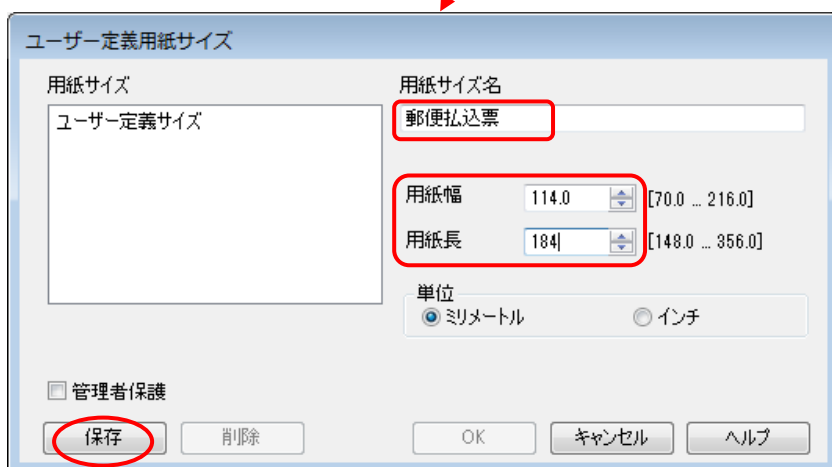
- ④ 「基本設定」タブの「給紙方法」を「MPトレイ」に設定する



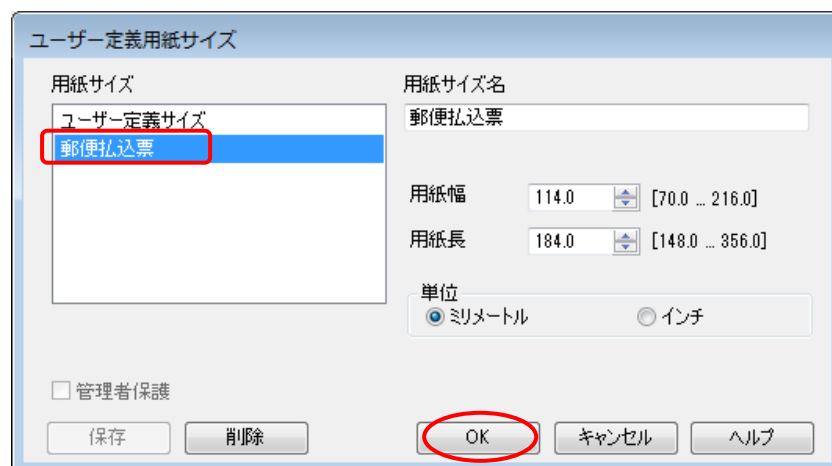
- ⑤ 「用紙サイズ」の[▼]をクリックして「ユーザー定義サイズ」を選択すると、⑬のような画面が表示されます。



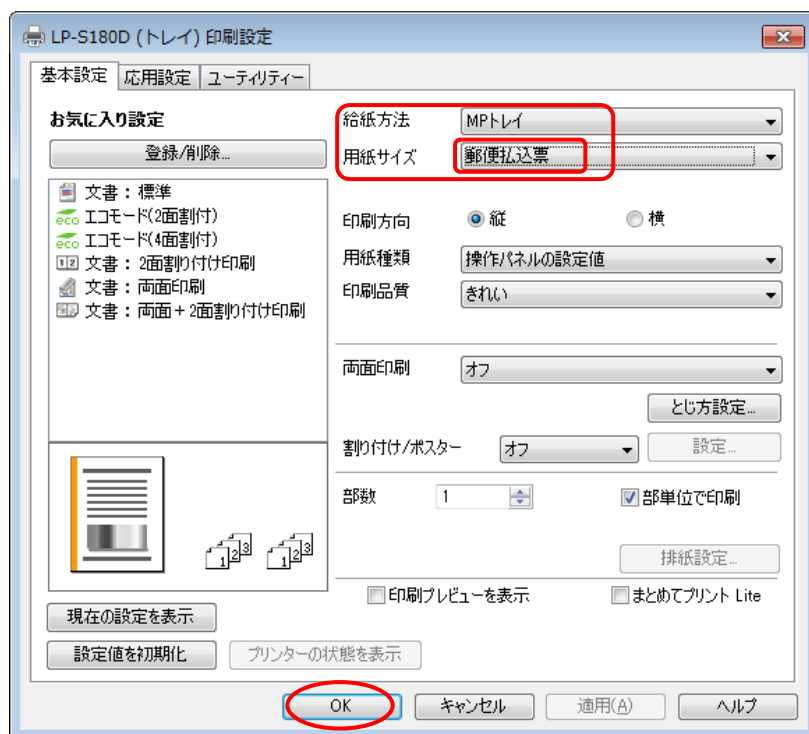
- ⑥ 用紙サイズ名に「郵便払込票」と入力し、用紙幅＝「114mm」、用紙長＝「184mm」を設定し、[保存]をクリックします。



- ⑦ 「郵便払込票」というユーザー定義用紙が登録されるので、[OK]をクリックします。



- ⑧ 給紙方法＝「トレイ」に用紙サイズ＝「郵便払込票」に設定されるので、[OK]をクリックします。



《注意》 必要に応じて、用紙の種類(普通紙／インクジェット用など)、印刷品質を設定します。

- ⑨ [OK]をクリックするとプリンタのプロパティ画面に戻る

- ⑩ 「デバイスとプリンタ」の画面の右上の[×]をクリックして、画面を閉じる

8. ドットプリンタの登録・設定

Windows7の場合について、「Epson VP-F2000」で2種類の配送伝票を連続帳票と単票で印刷する場合について説明します。

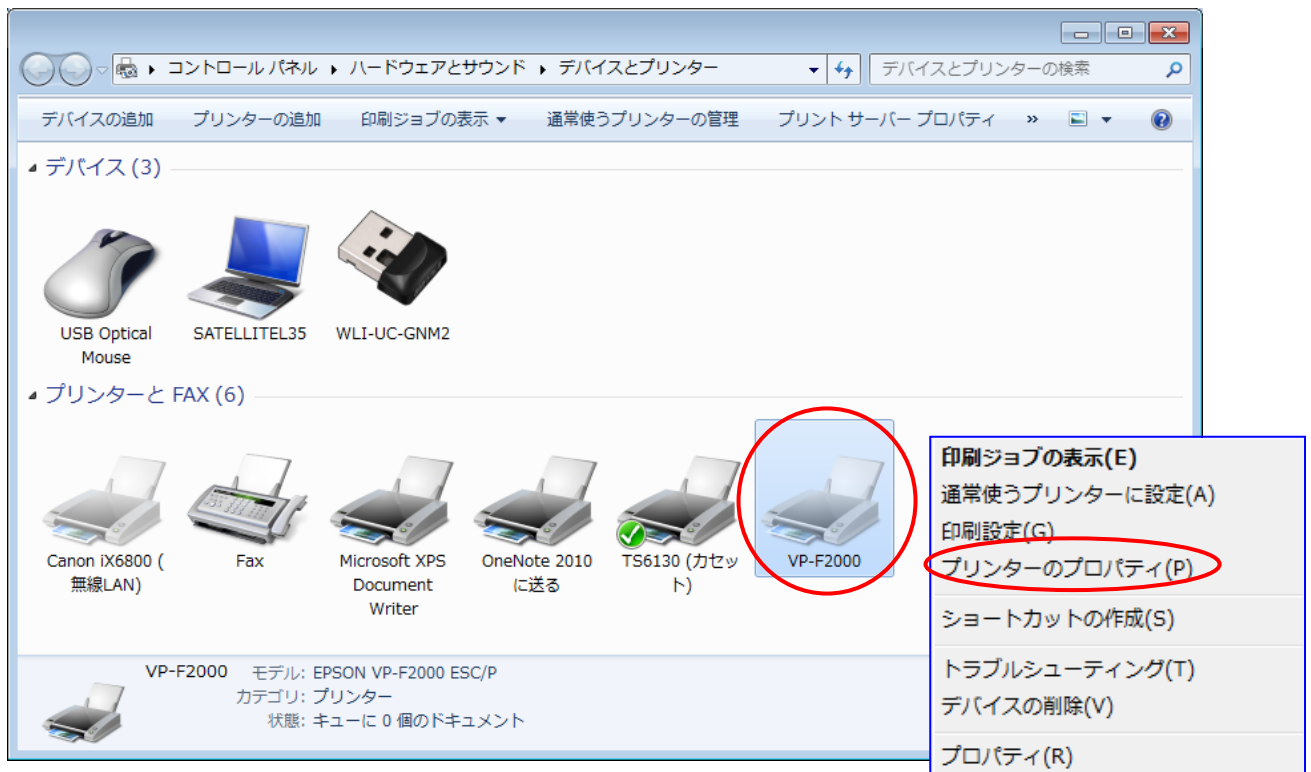
8. 1 プリンタの登録

プリンタのマニュアルに従って、VP-F2000を登録(インストール)します。

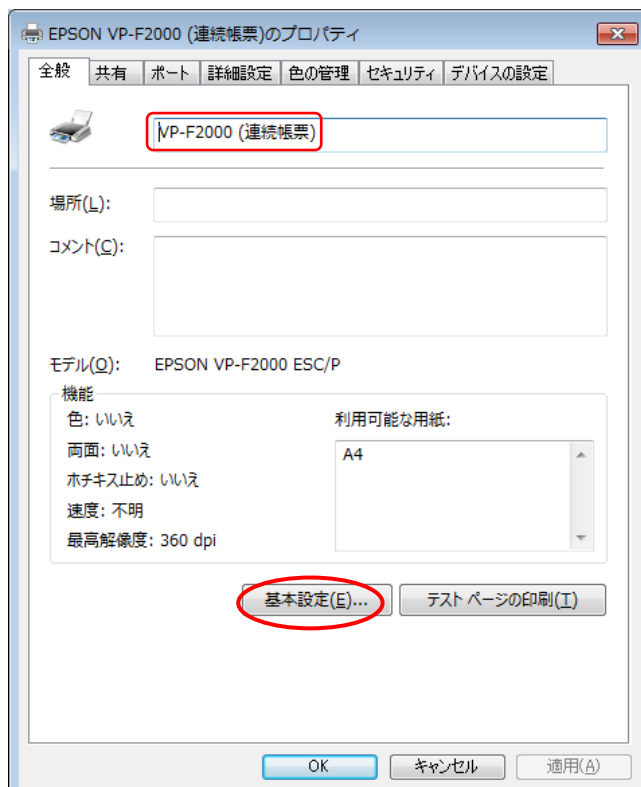
8. 1. 1 既存のプリンタを「トラクタフィード」に設定する

(1)「スタート-デバイスとプリンタ」をクリックして、プリンタのアイコンを表示する。

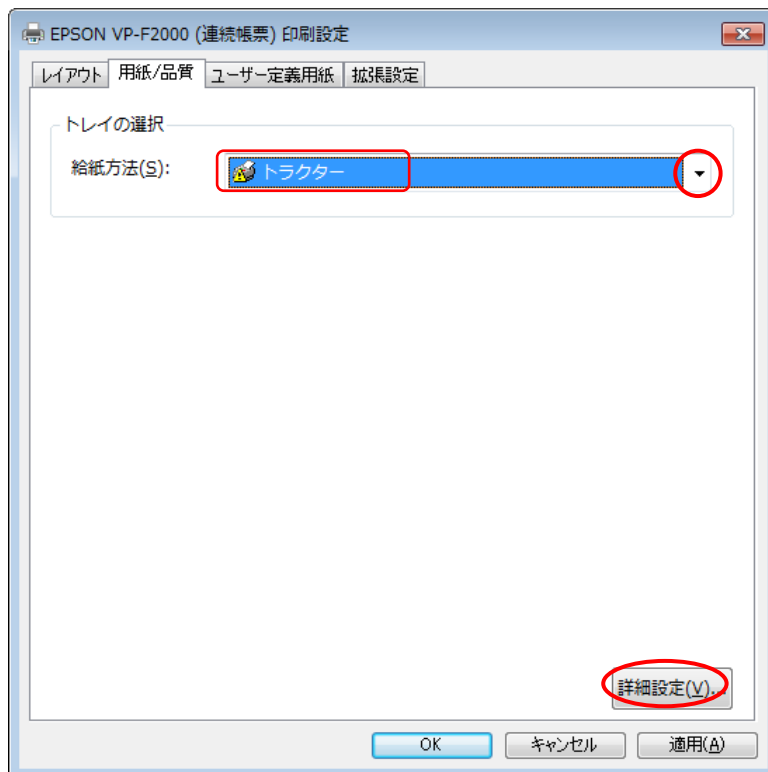
(2)「VP-F2000」のアイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックして、「プリンタのプロパティ」をクリックする。



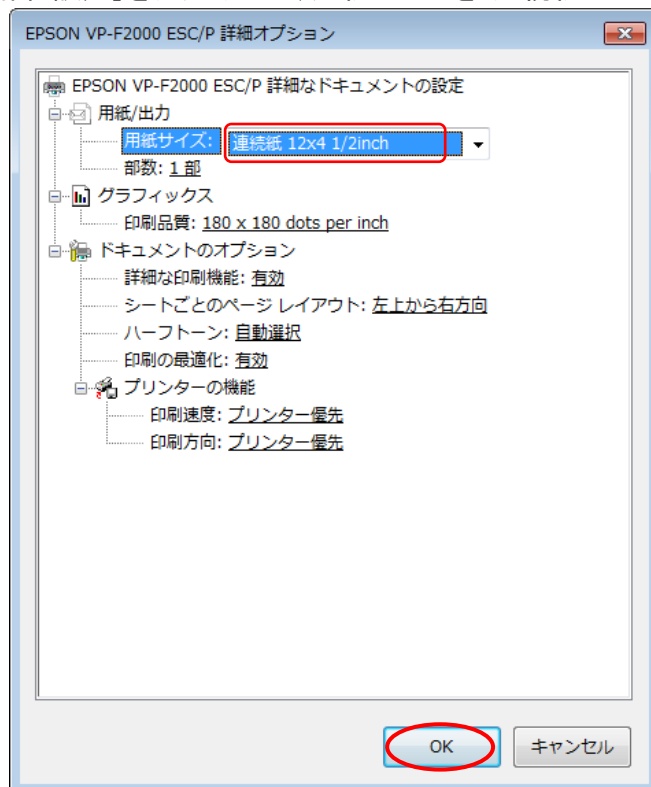
(3)「全般」タブをクリックして、プリンタ名を「VP-F2000(連続帳票)」に変更して、[基本設定]をクリックする。



(4) 「用紙/品質」タブで給紙方法を「トラクター」にします。



(5) [詳細設定]をクリックして、用紙サイズを「連続紙 12x5 inchi」に設定します。



《注意》 用紙サイズ、余白等は、伝票毎に再度設定します。

(6) [OK]をクリックするとプロパティの画面に戻ります。

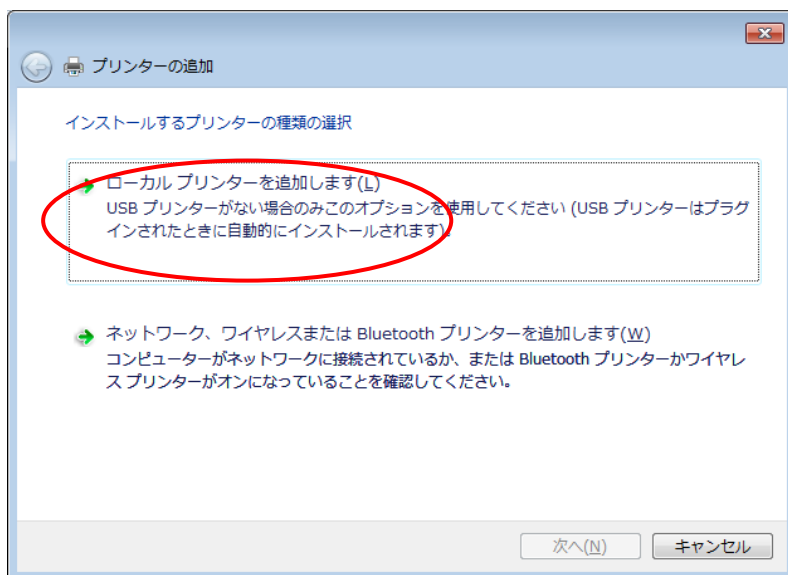
(7) [OK]をクリックすると「デバイスとプリンタ」の画面に戻ります。

(8) 「デバイスとプリンタ」フォルダを閉じる(右上の[×]をクリックする)

8. 1. 2 もう1台のプリンタを追加して、「手差し」に設定する

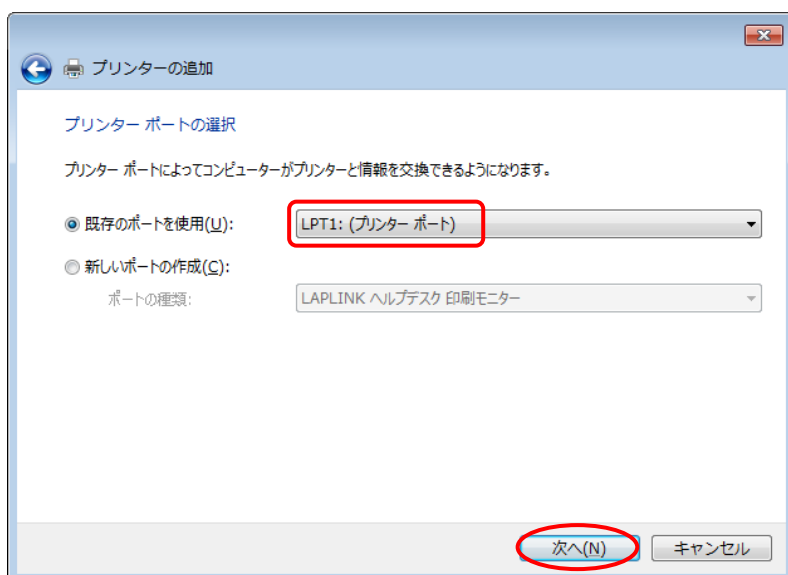
(1) プリンタのインストール

①【デバイスとプリンタ】の「プリンタの追加」をクリックする。

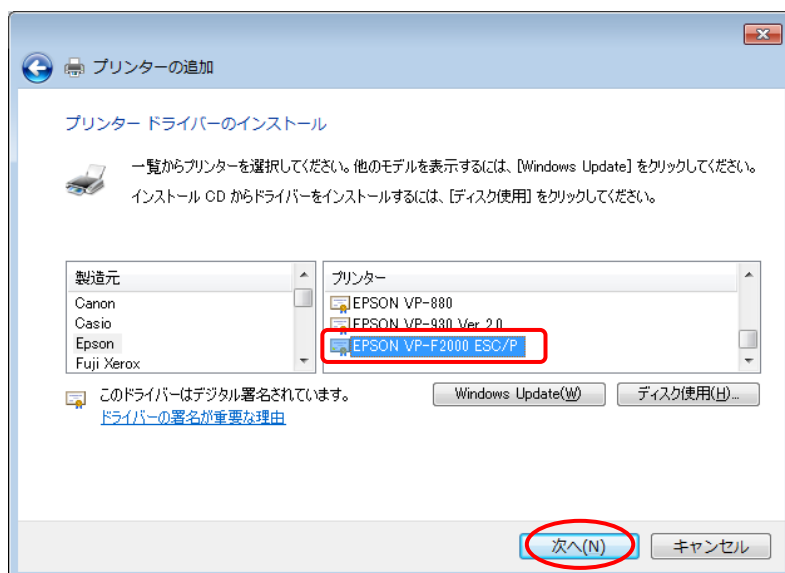


既に1度、プリンタをインストール済みなので、自動インストールはできない
マニュアル操作で追加する

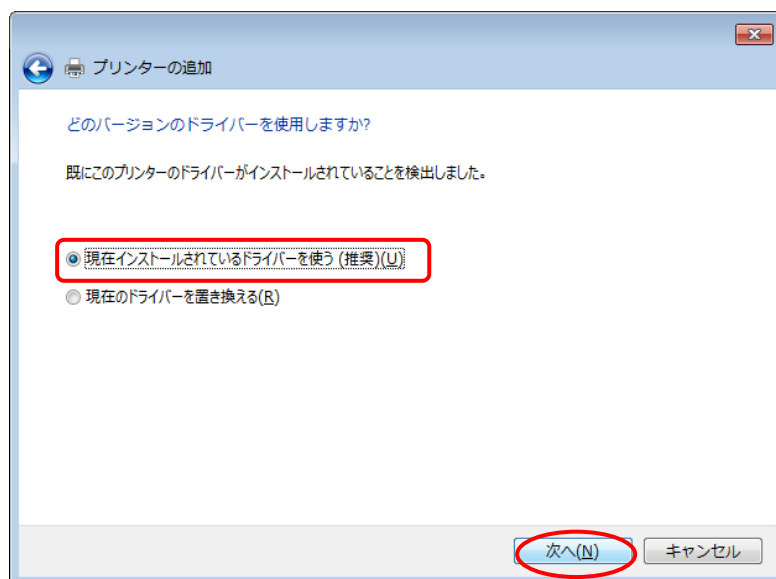
② 既存のポート「LPT1」(仮のポート)を選択して[次へ]をクリックする



③ 該当するプリンタ「EPSON VP-F2000 ESC/P」を選択して[次へ]をクリックする

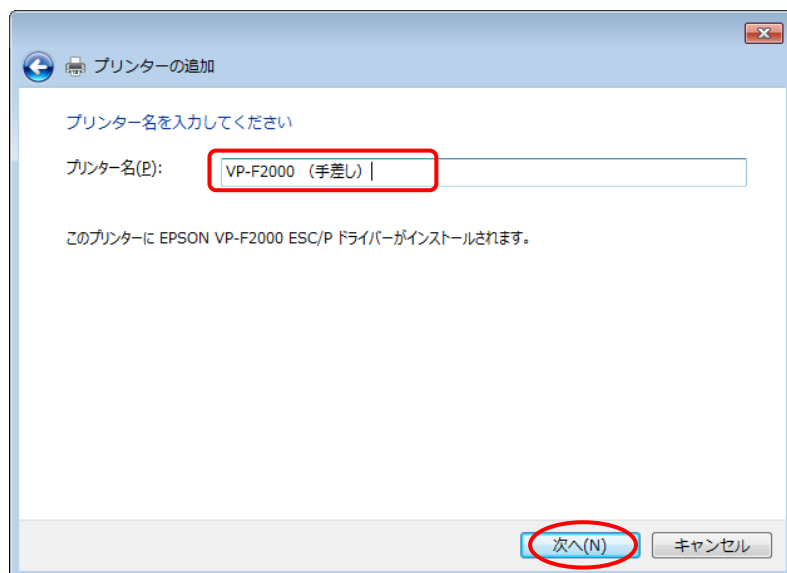


- ④ 「現在インストールされているドライバを使う」にチェックして[次へ]をクリックする

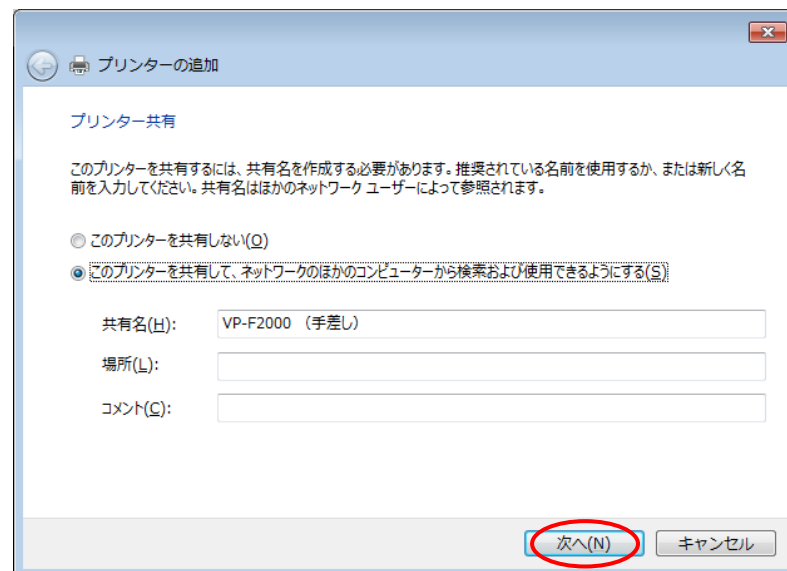


プリンタの接続ポートを指定する
(例. USB2)

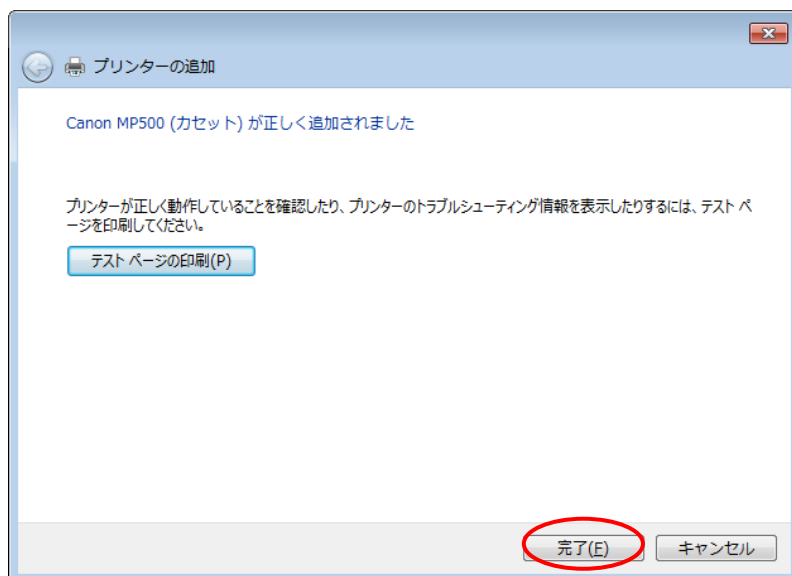
- ⑤ ドライバがインストールされる
⑥ プリンタ名を「VP-F2000 (手差し)」に変更して[次へ]をクリックする。



- ⑦ プリンタの共用(ネットワークで共有する場合は共有するに)を指定して[次へ]をクリックする



⑧ [テストページの印刷]はしない

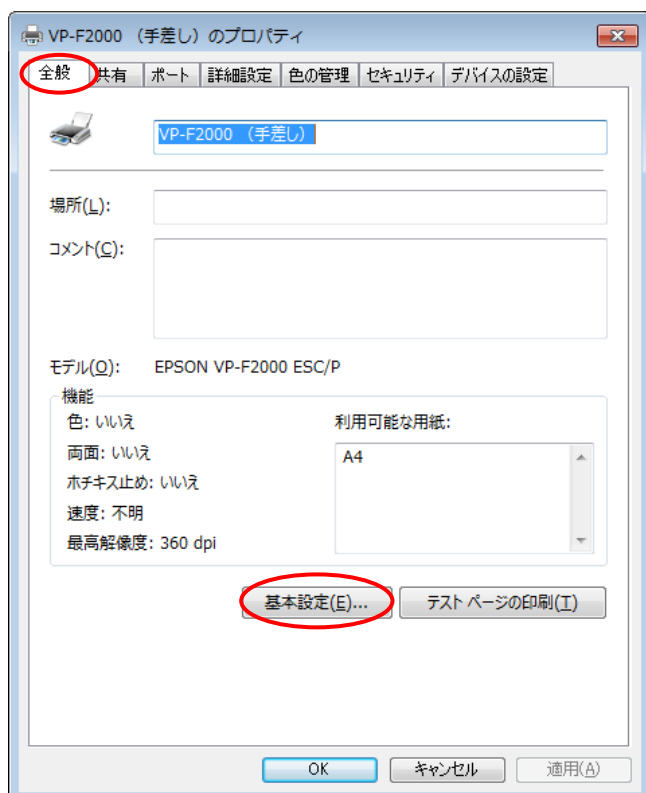


⑨ [完了]をクリックすると「デバイスとプリンタ」に戻り新しいプリンタのアイコンが追加される。

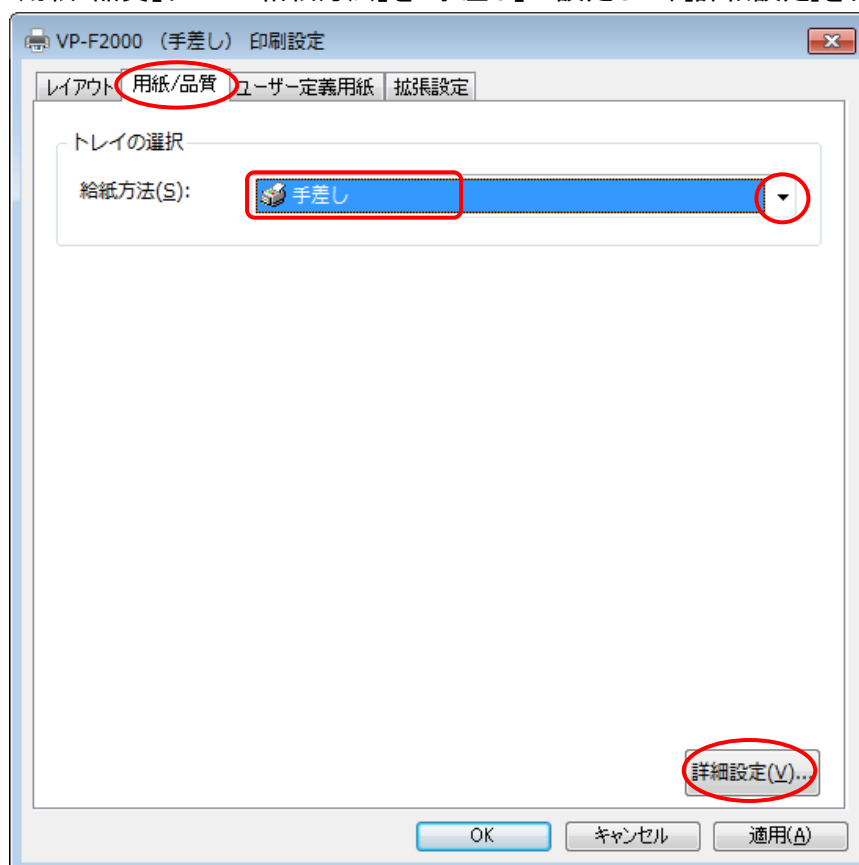


⑩ 新しく登録したプリンタのアイコンをクリックして、マウスの右ボタンをクリックして、「プリンタのプロパティ」をクリックする。

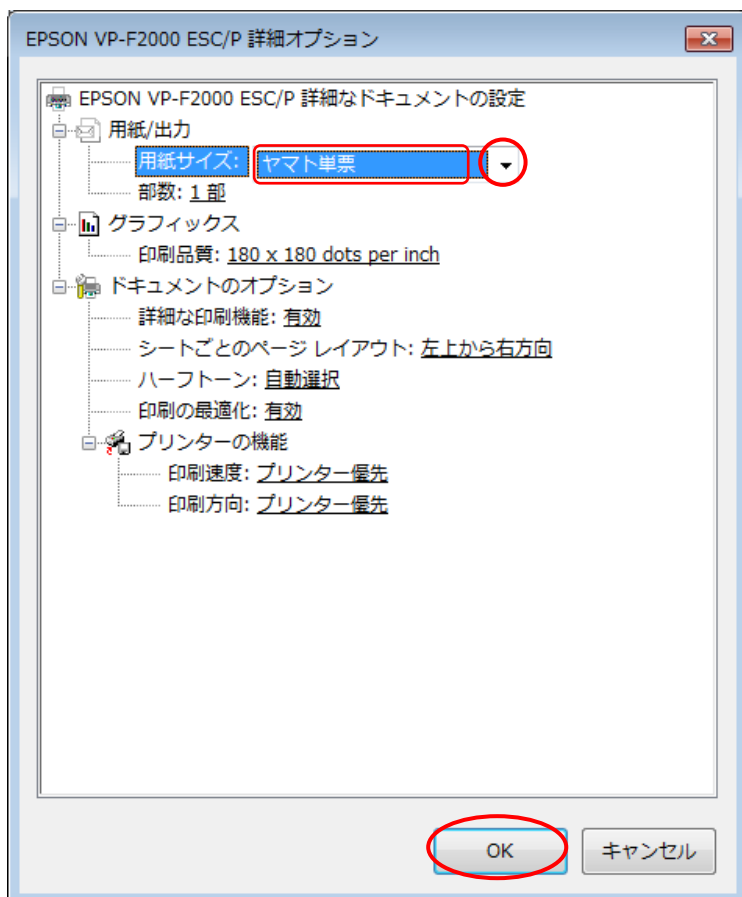
⑫ 「全般」の[基本設定]をクリックする



⑬ 「用紙/品質」タブの「給紙方法」を「手差し」に設定して、[詳細設定]をクリックします。

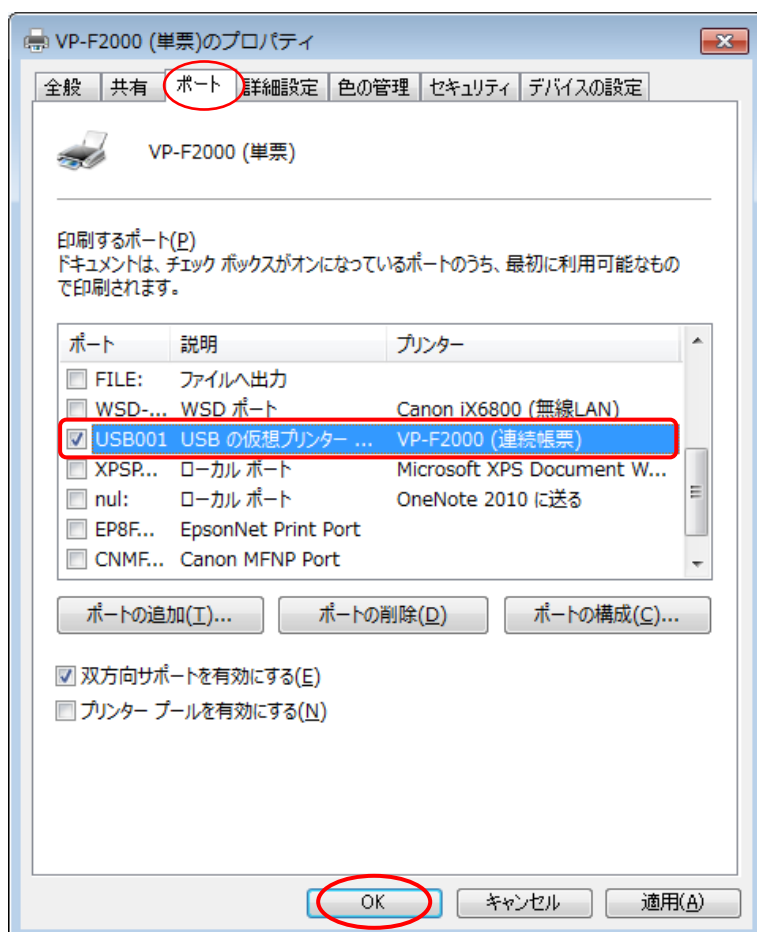


- ⑭ 用紙サイズ欄の[▼]をクリックして、「ヤマト単票」に設定し、[OK]をクリックします



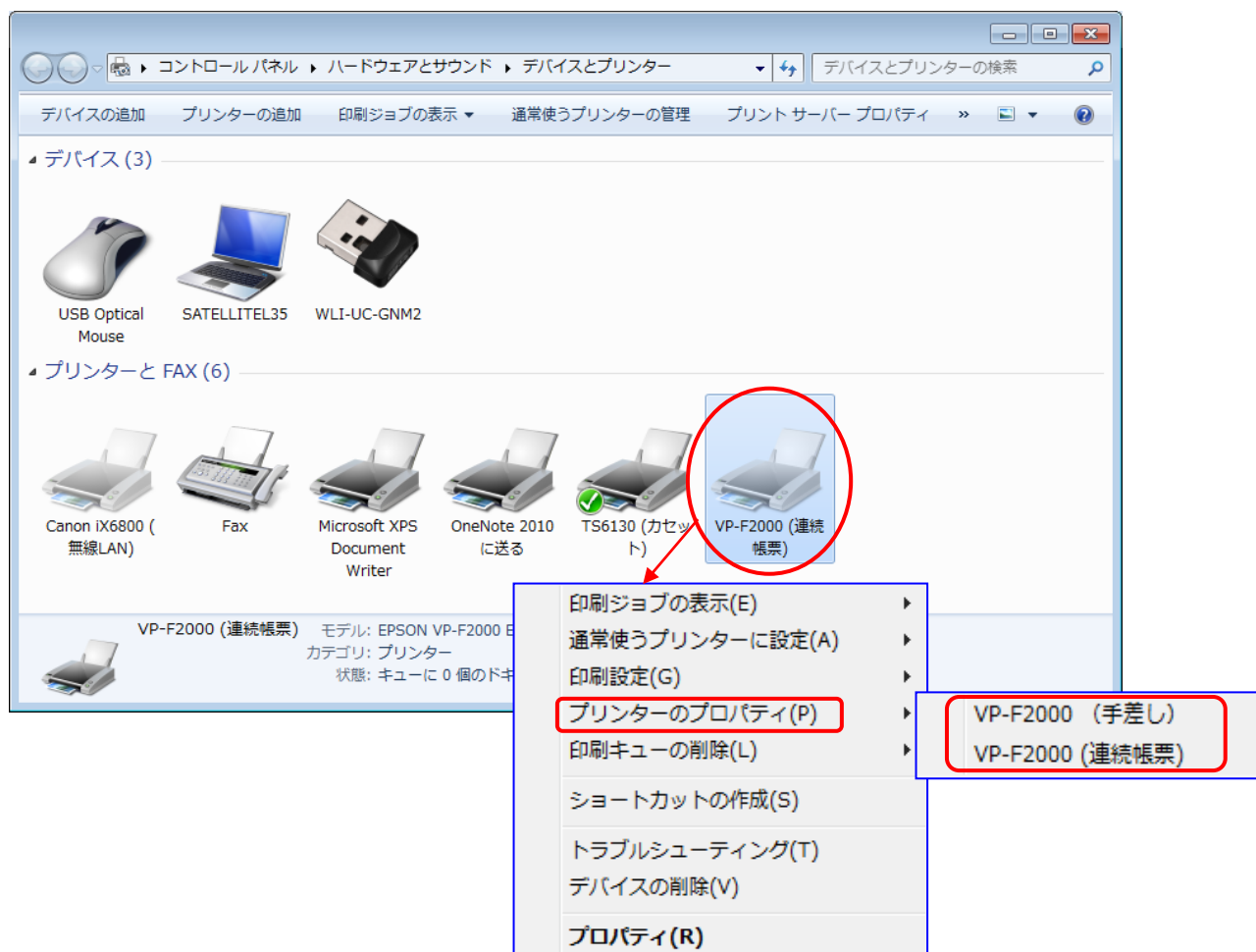
- ⑮ 印刷設定画面に戻るので、[OK]をクリックします。

- ⑯ [ポート]タブをクリックし、ポートを「USBの VP-F2000」に変更して、[OK]をクリックします。



⑪ 「デバイスとプリンタ」の画面に戻るので、右上の[×]をクリックして、画面を閉じる

⑫ 再度、「デバイスとプリンタ」の画面を表示すると、「VP-F2000 (連続帳票)」と「VP-F2000 (手差し)」が1つのアイコンにまとめられている。マウスの右ボタンをクリックして、プリンタのプロパティを見ると、2つのプリンタがあることがわかる。(同じポートなので1つにまとめられる)



8. 2 配送伝票の設定

使用する伝票毎に「給紙方法と用紙サイズ」を設定し、「印刷位置(余白)」を調整設定します。

8. 2. 1 連続帳票の場合

メインメニューの[配送伝票]ボタンをクリックすると、下記のような画面が表示されます。

複写伝票のリスト

| | | |
|--------------------------|--------------|------|
| 01 | ゆうパック(B)2 | 商品1点 |
| 02 | ゆうパック(B)2 | 商品3点 |
| 03 | ヤマト 通常便 | 商品1点 |
| 04 | ヤマト 通常便 | 商品3点 |
| 05 | ヤマト クール便 | 商品1点 |
| 06 | ヤマト クール便 | 商品3点 |
| 07 | ヤマトA 通常便 | 商品3点 |
| 08 | ヤマトB 通常便 | 商品3点 |
| 09 | ヤマトC くだもの | 商品3点 |
| 10 | 佐川急便(H22) | 商品1点 |
| 11 | 佐川急便(H22) | 商品3点 |
| 12 | 日通航空(エクスプレス) | 商品1点 |
| 13 | 日通航空(エクスプレス) | 商品3点 |
| 14 | 西濃運輸 カンガル便 | |
| A配送伝票(JP:100651)3点.xlsx | | |
| A配送伝票(ヤマトコレクト)3点.xlsx | | |
| A配送伝票(ゆうパック)3点.xlsx | | |
| A配送伝票(ゆうパック)組合1点2行.xlsx | | |
| A配送伝票(ゆうパック)組合3点1行.xlsx | | |
| A配送伝票(ゆうパック東海)金額あり.xlsx | | |
| A配送伝票(ゆうパック東海)金額なし.xlsx | | |
| A配送伝票(佐川急便)2点.xlsx | | |
| A配送伝票(佐川急便)3点.xlsx | | |
| A配送伝票(新ヤマト)3点.xlsx | | |
| A配送伝票(新ヤマト:組合3点1行).xlsx | | |
| A配送伝票(新ヤマト:組合3点2行).xlsx | | |
| 配送伝票(ゆうパック:まとめ送金)3点.xlsx | | |

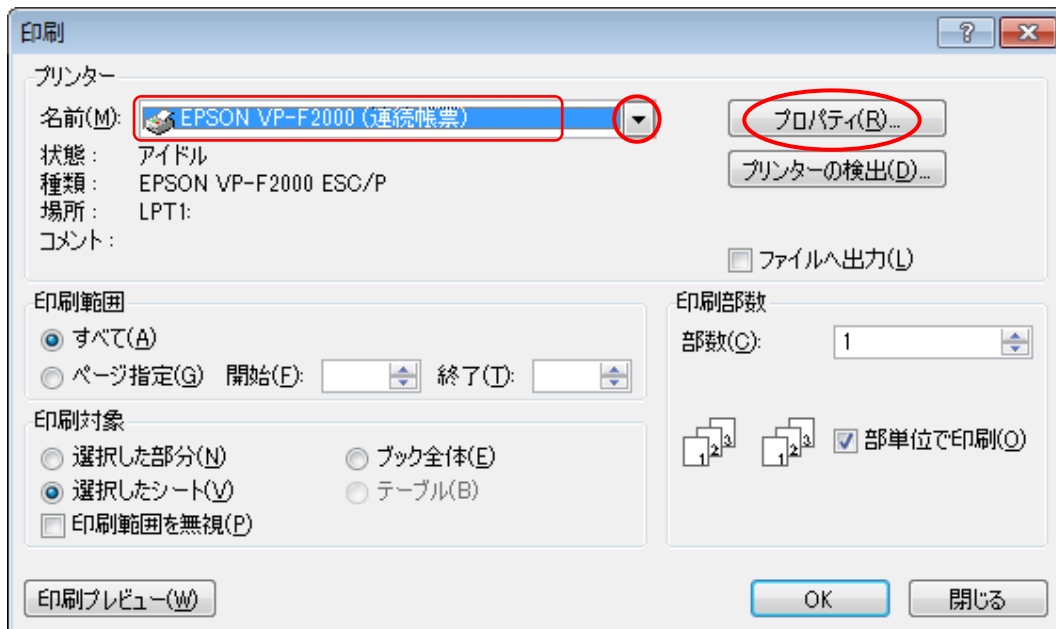
内部伝票

外部伝票 ※EX/Premium 版

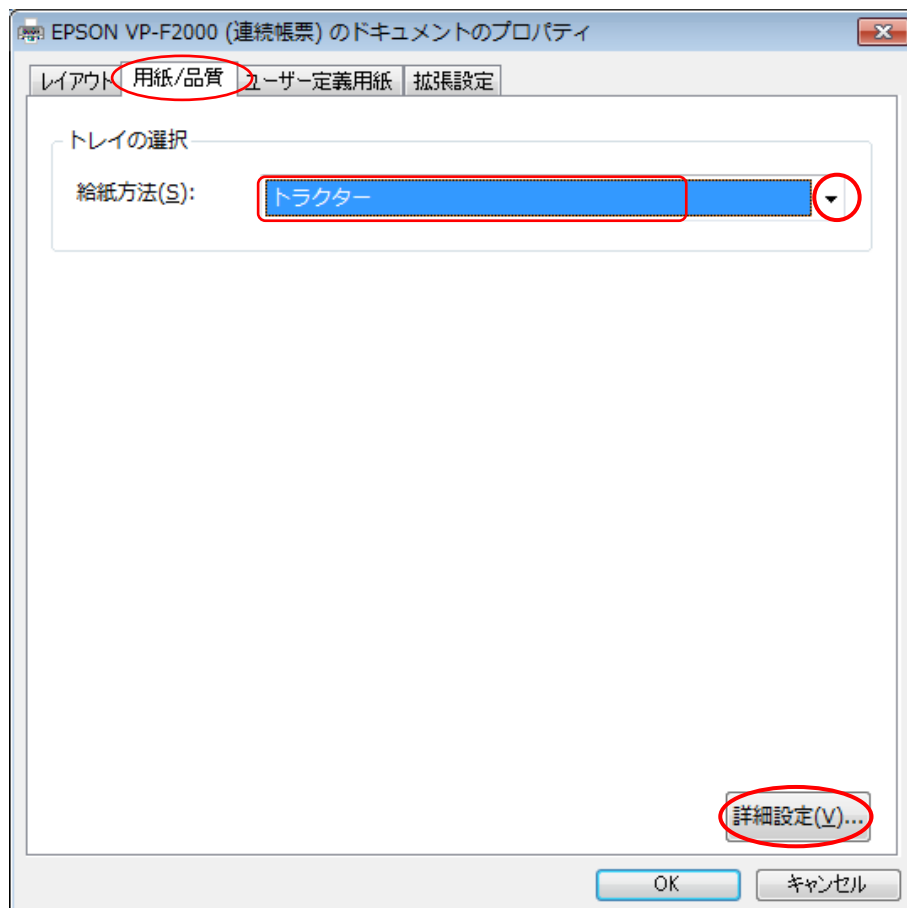
「ゆうパック(B)2」伝票を連続帳票(トラクタフィード)で印刷する場合について説明します。

次の手順で、複写伝票の「伝票名、複写伝票、プリンタ」を登録します。

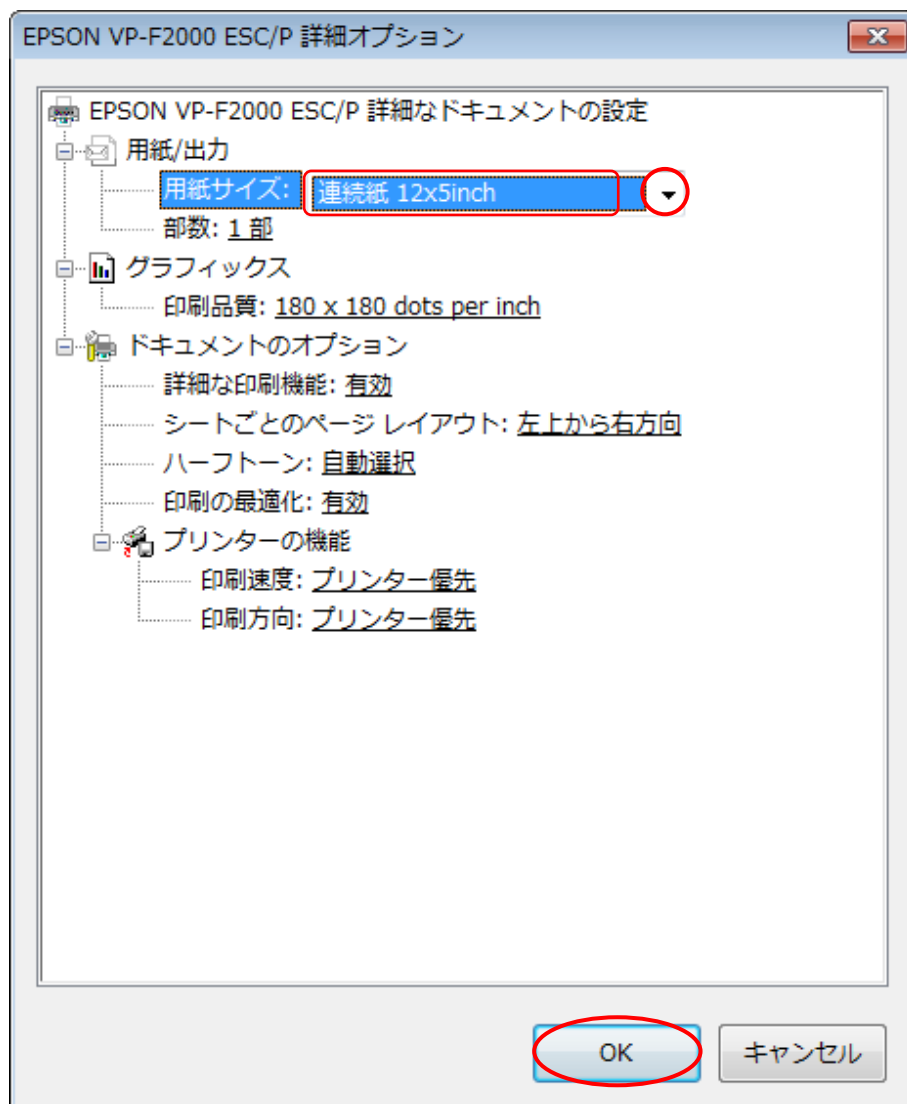
- ① F1欄の配送伝票名に「ゆうパック」と入力して、複写伝票は「02 ゆうパック(B) 2 商品3点」を選択して、F1の有効にチェックします。
- ② プリンタの[選択]ボタンをクリックすると、下記のような画面が表示されます。
プリンタ欄の[▼]をクリックして、「VP-2000(連続帳票)」を選択して、[プロパティ]をクリックします。



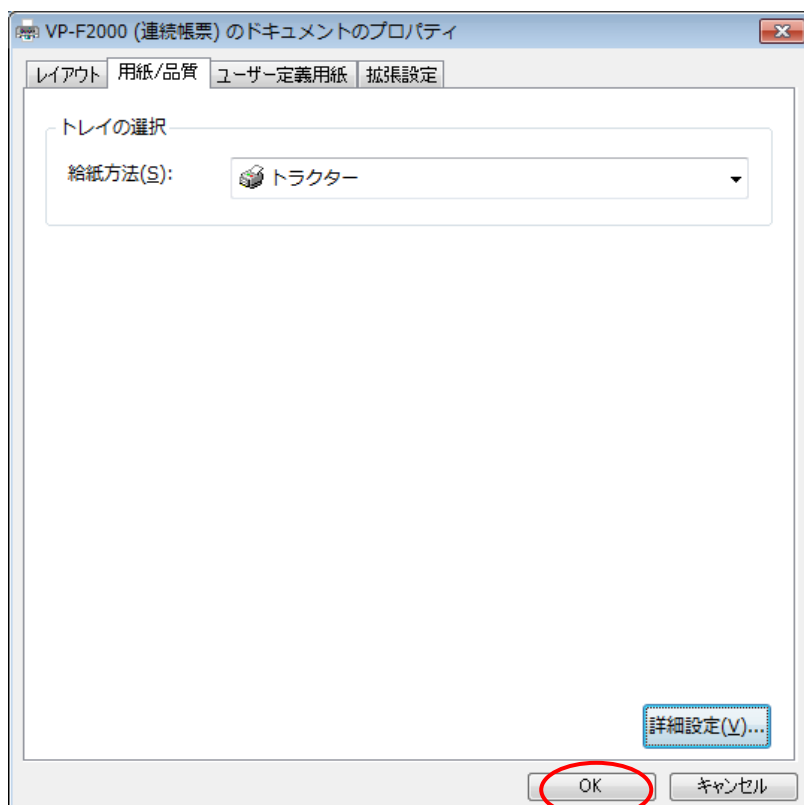
- ③ 「用紙/品質」タブで給紙方法を「トラクター」にします。



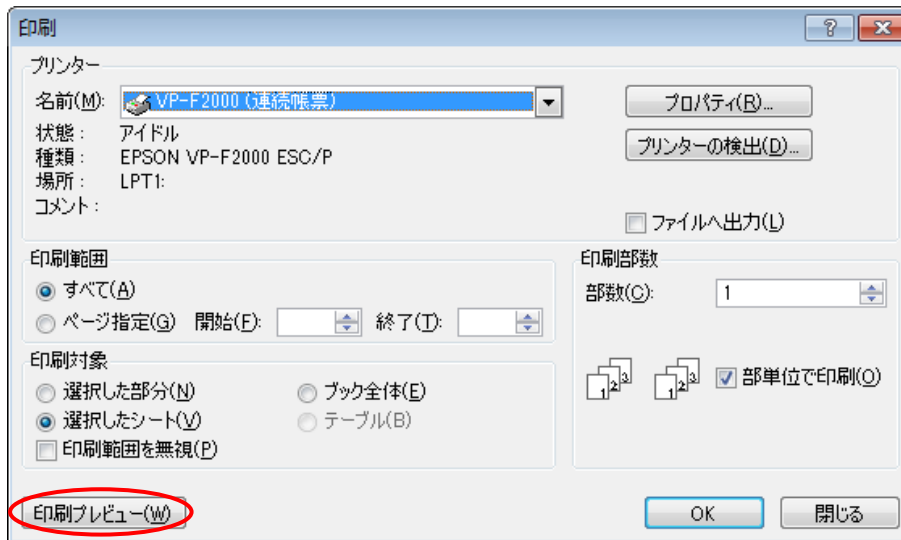
- ④ [詳細設定]をクリックして、用紙サイズを「連続紙 12x5 inch」に設定します。



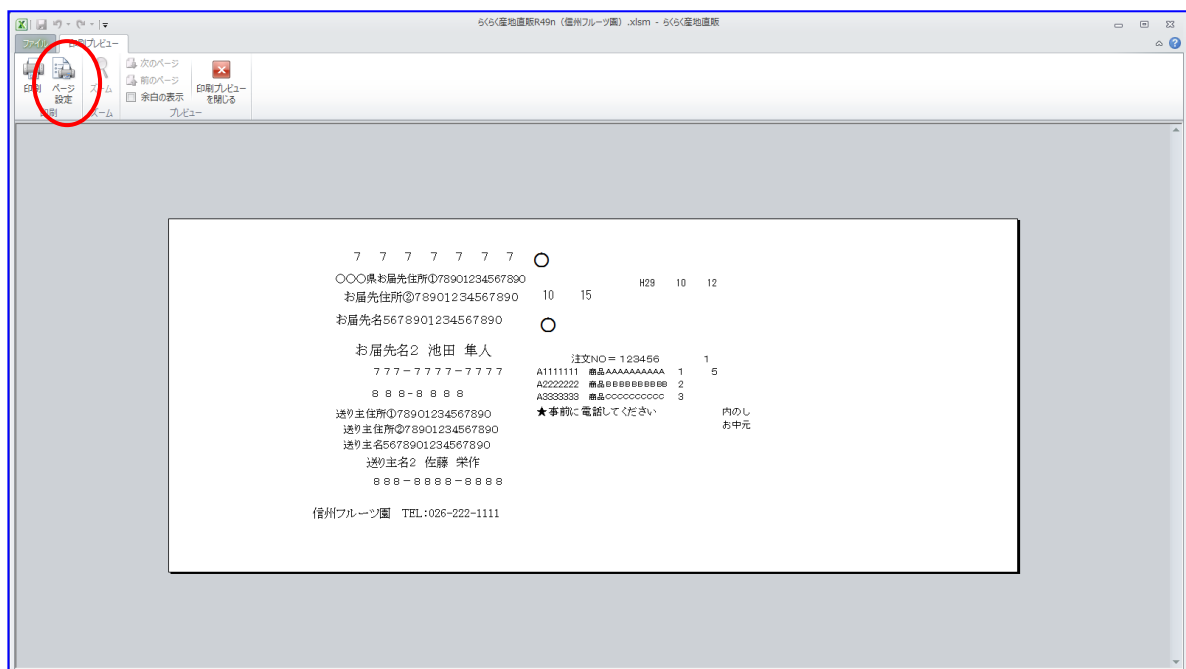
- ⑤ [OK]をクリックするとプリンタのプロパティの設定画面に戻ります



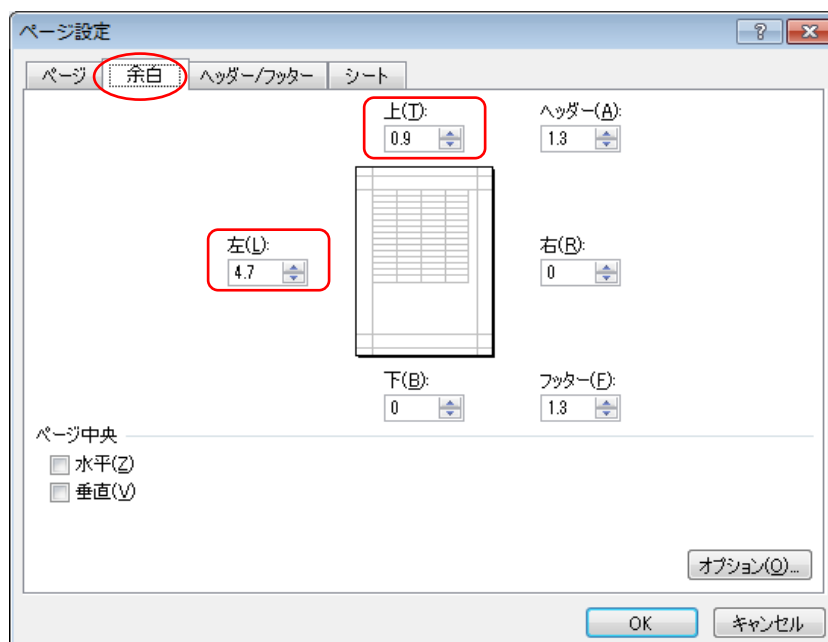
- ⑥ [OK]をクリックすると、印刷設定画面に戻ります。



- ⑦ [印刷プレビュー]をクリックすると下記のような印刷プレビュー画面が表示されます。



- ⑧ [ページ設定] ボタンをクリックして、「余白」タブの上余白と左余白を設定します。



⑨ [OK]をクリックすると、印刷プレビュー画面に戻ります。



⑩ [印刷]をクリックすると印刷されます。

⑪ 印刷結果を見て、⑧の手順で余白を調整します。

《注意》 配送伝票を変更した場合は、再度 プリンタのプロパティを設定し直してください。

8. 2. 2 単票の場合

メインメニューの[配送伝票]ボタンをクリックすると、下記のような画面が表示されます。

配送伝票／他システム連携の設定

| 有効 | 配送伝票名 | 複写伝票 | 印刷するプリンタ | 複写伝票クリア |
|--|------------|-----------------------|-----------------|---------|
| F1 <input checked="" type="checkbox"/> | ゆうパック | 02 ゆうパック(B)2 商品3点 | VP-F2000 (連続帳票) | 選択 |
| F2 <input checked="" type="checkbox"/> | ヤマト (コレクト) | A配送伝票(ヤマトコレクト)3点.xlsx | VP-F2000 (手差し) | 選択 |
| F3 <input type="checkbox"/> | | | | 選択 |
| F4 <input type="checkbox"/> | | | | 選択 |

| 有効 | 他システム名 | ◆ 配送伝票ファイル名の頭2文字は数字にしないこと | 保存するフォルダ | 他システムクリア |
|-----------------------------|--------|---|----------|----------|
| C1 <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 代引／通常でファイルを分ける | | 選択 |
| C2 <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 代引／通常でファイルを分ける | | 選択 |
| C3 <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 代引／通常でファイルを分ける | | 選択 |

発行方法

- ☒ 即時発行 (注文入力時に配送伝票を印刷する)
- ☐ 一括発行 (注文入力後、一括して配送伝票を印刷する)

※ 複写伝票は、伝票をプリンタに印刷して、用紙サイズ・余白等を設定します。
 ※ 他システム連携は、他システム側で、印刷項目の紐づけを行ってください。

複写伝票／他システム連携共通

☐ 依頼主＝お届け先のととき、依頼主を「ご本人」にする ☒ 小包の数(梱包数)分の配送伝票を印刷する ◆追加用配送シールなし

複写式配送伝票の印刷

■ 発行日 ☐ 印刷しない ☒ 年のみ印刷 ☐ 伝票印刷日を印刷 ☐ 出荷日を印刷

■ 印刷指定 ☒ 注文NO ☒ 商品コード ☒ 商品名 ☐ 文字以降カット ☒ 数量 ☒ 冷蔵・冷凍(マーク)

☒ 「のし指定」 ☐ 「メモ」 ☒ 発送元 ☐ 代引きの場合、送り主欄を印刷しない

他システム連携(ファイル作成)

■ ファイル名付加する文字 ※ 入力した端末の識別用

■ 発送予定日 ☒ ファイル作成時に指定する ☐ 出荷日にする

■ 印刷指定 ☐ 数量 <ヤマトB2> ☒ 記事欄 ☐ 注文メモ ☐ 自社情報

<ゆうプリン> ☒ なまもの

設定 キャンセル

複写伝票のリスト

| | |
|----|--------------------------|
| 01 | ゆうパック(B)2 商品1点 |
| 02 | ゆうパック(B)2 商品3点 |
| 03 | ヤマト 通常便 商品1点 |
| 04 | ヤマト 通常便 商品3点 |
| 05 | ヤマト クール便 商品1点 |
| 06 | ヤマト クール便 商品3点 |
| 07 | ヤマトA 通常便 商品3点 |
| 08 | ヤマトB 通常便 商品3点 |
| 09 | ヤマトC くだもの 商品3点 |
| 10 | 佐川急便(H22) 商品1点 |
| 11 | 佐川急便(H22) 商品3点 |
| 12 | 日通航空(エクスプレス) 商品1点 |
| 13 | 日通航空(エクスプレス) 商品3点 |
| 14 | 西濃運輸 カンガル便 |
| | A配送伝票(JP:100651)3点.xlsx |
| | A配送伝票(ヤマトコレクト)3点.xlsx |
| | A配送伝票(ゆうパック)3点.xlsx |
| | A配送伝票(ゆうパック)組合1点2行.xlsx |
| | A配送伝票(ゆうパック)組合3点1行.xlsx |
| | A配送伝票(ゆうパック東海)金額あり.xlsx |
| | A配送伝票(ゆうパック東海)金額なし.xlsx |
| | A配送伝票(佐川急便)2点.xlsx |
| | A配送伝票(佐川急便)3点.xlsx |
| | A配送伝票(新ヤマト)3点.xlsx |
| | A配送伝票(新ヤマト:組合3点1行).xlsx |
| | A配送伝票(新ヤマト:組合3点2行).xlsx |
| | 配送伝票(ゆうパック:まとめ送金)3点.xlsx |

内部伝票

外部伝票 ※EX/Premium 版

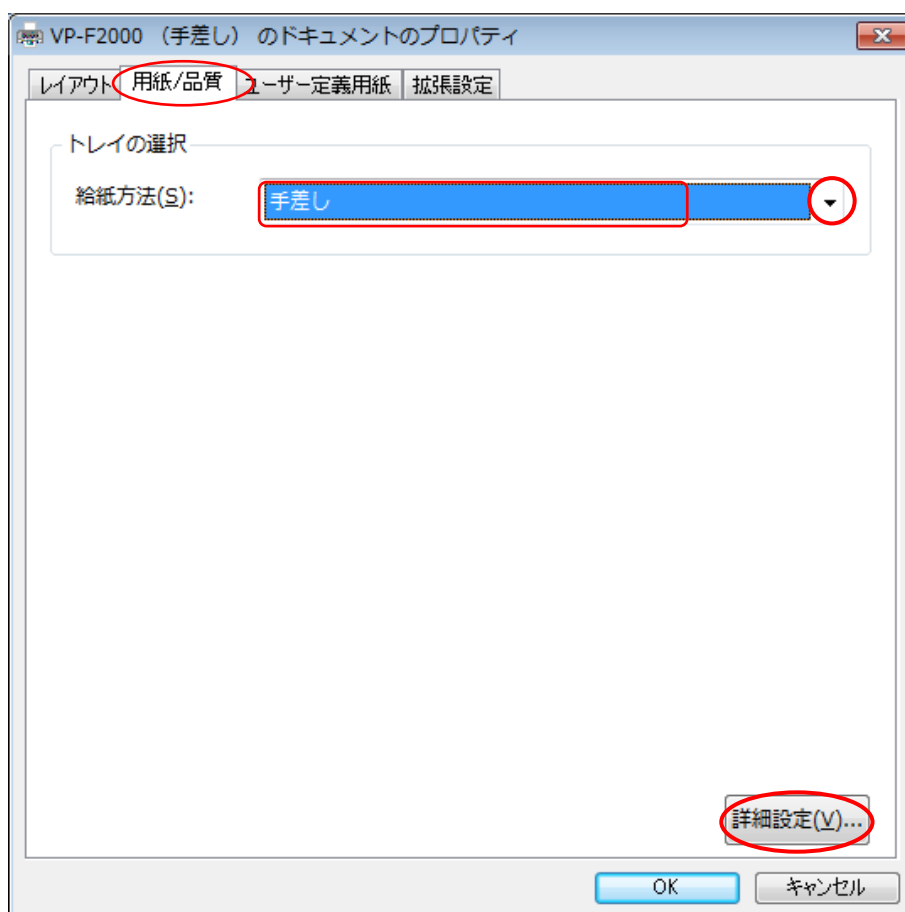
ヤマトのコレクト伝票を単票(手差し)で印刷する場合について説明します。

次の手順で、複写伝票の「伝票名、複写伝票、プリンタ」を登録します。

- ① F2欄の配送伝票名に「ヤマト(コレクト)」と入力して、複写伝票は「02 ゆうパック(B)2 商品3点」を選択して、F2の有効にチェックします。
- ② プリンタの[選択]ボタンをクリックすると、下記のような画面が表示されます。
プリンタ欄の[▼]をクリックして、「VP-2000(単票)」を選択して、[プロパティ]をクリックします。



- ③ 「用紙/品質」タブで給紙方法を「手差し」にします。



- ④ 「ユーザ定義用紙」タブを選択し、ユーザ定義用紙を定義します
用紙名に「ヤマト単票」と入力し、「幅＝23.0cm、高さ＝11.4cm」に設定して[用紙の保存]をクリックします。

VP-F2000 (単票) 印刷設定

レイアウト 用紙/品質 ユーザー定義用紙 拡張設定

用紙(P)

用紙名(N)
ヤマト単票

単位
☒ cm(C) ☐ inch(I)

用紙サイズ
幅(W) 23.00
高さ(H) 11.4

余白
左(L) 0.00 上(T) 0.00
右(R) 0.00 下(B) 0.00

削除(D)

用紙の保存(S)

OK キャンセル 適用(A)

- ⑤ ユーザ定義用紙に「ヤマト単票」が登録れます。

VP-F2000 (単票) 印刷設定

レイアウト 用紙/品質 ユーザー定義用紙 拡張設定

用紙(P)
ヤマト単票

用紙名(N)
ヤマト単票

単位
☒ cm(C) ☐ inch(I)

用紙サイズ
幅(W) 23.00
高さ(H) 11.4

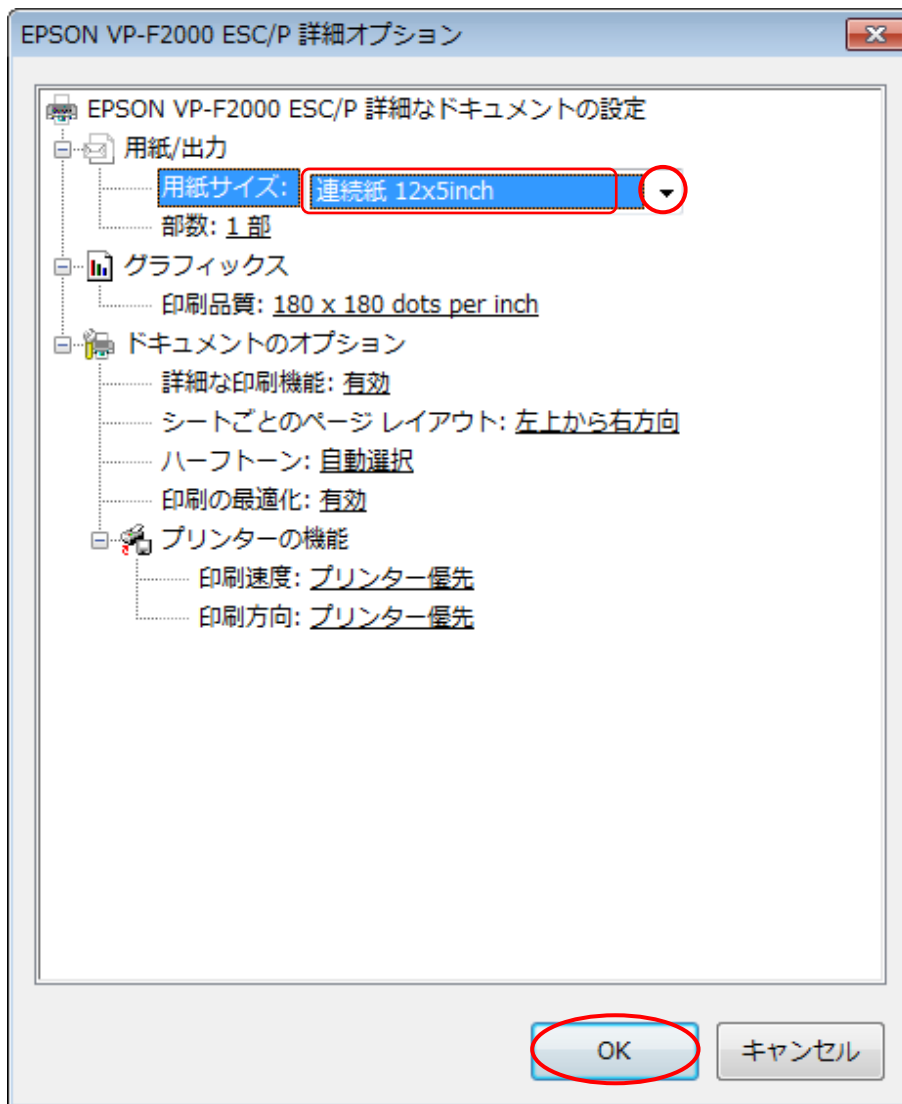
余白
左(L) 0.00 上(T) 0.00
右(R) 0.00 下(B) 0.00

削除(D)

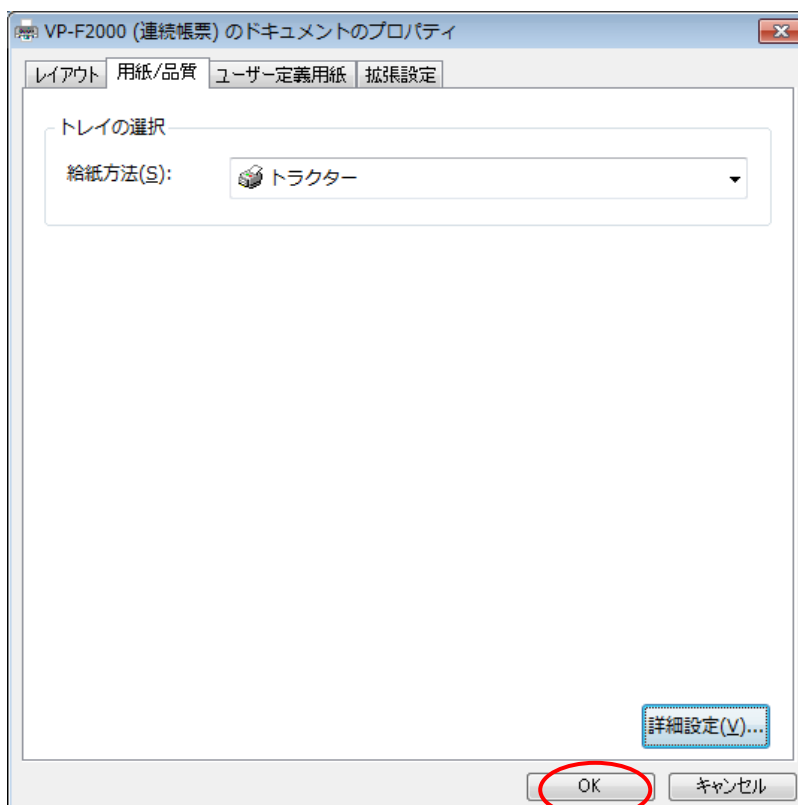
用紙の保存(S)

OK キャンセル 適用(A)

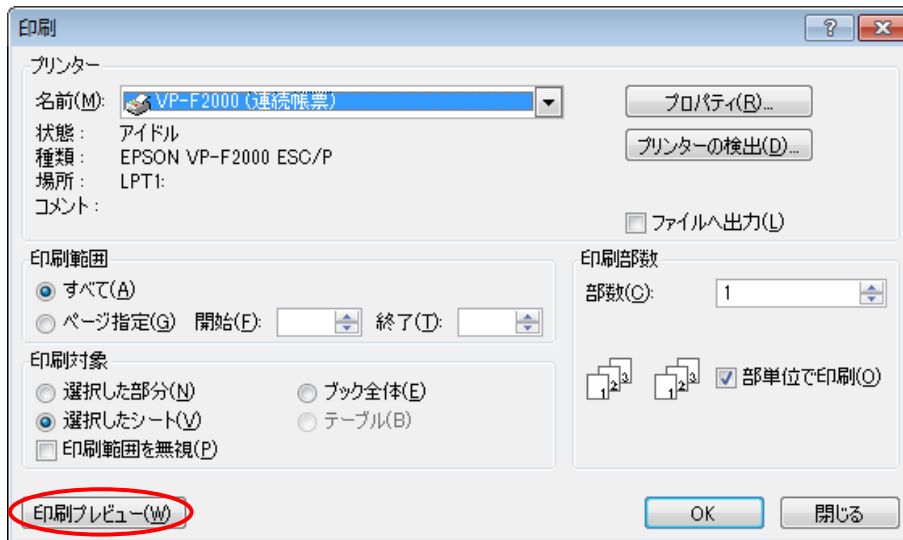
- ⑥ [詳細設定]をクリックして、用紙サイズを「連続紙 12x5 inch」に設定します。



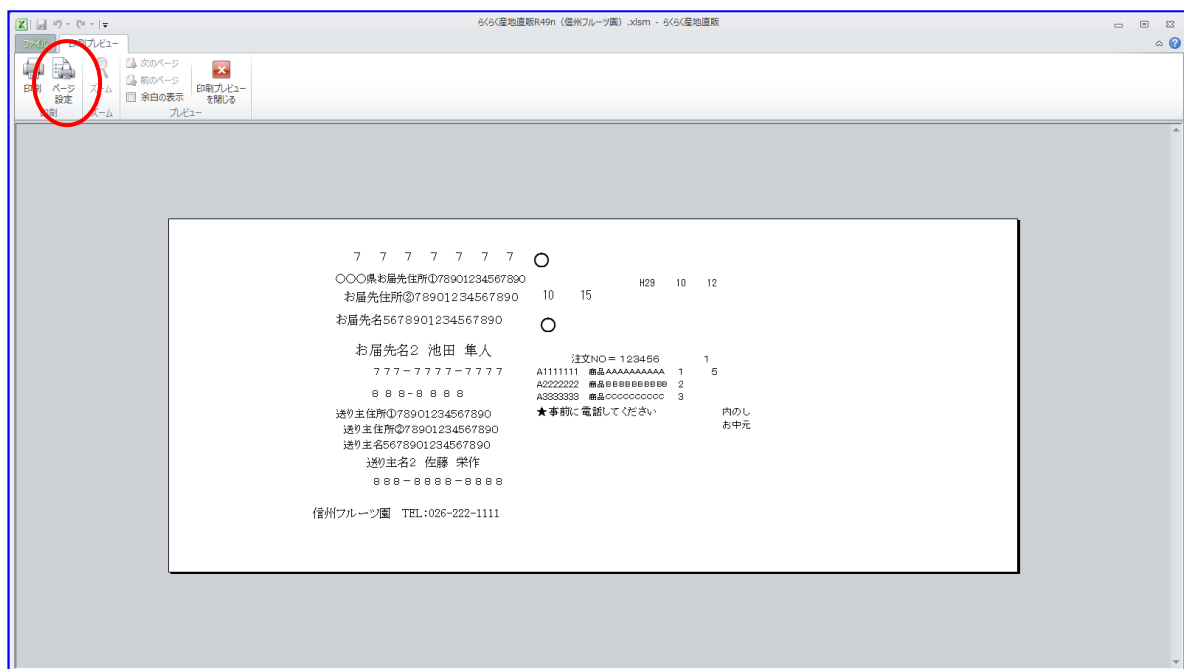
- ⑤ [OK]をクリックするとプリンタのプロパティの設定画面に戻ります



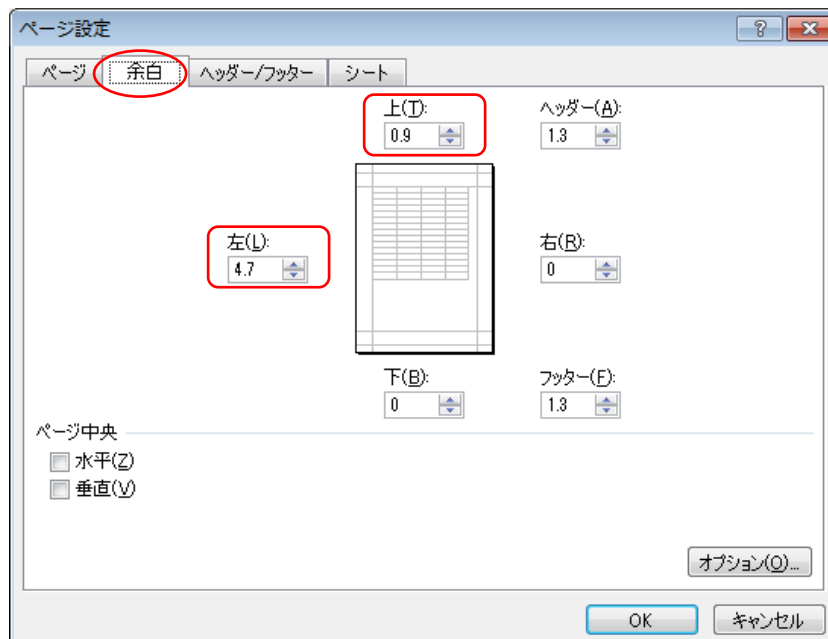
⑥ [OK]をクリックすると、印刷設定画面に戻ります。



⑦ [印刷プレビュー]をクリックすると下記のような印刷プレビュー画面が表示されます。



⑧ [ページ設定]ボタンをクリックして、「余白」タブの上余白と左余白を設定します。



⑨ [OK]をクリックすると、印刷プレビュー画面に戻ります。



⑩ [印刷]をクリックすると印刷されます。

⑪ 印刷結果を見て、⑧の手順で余白を調整します。

《注意》 配送伝票を変更した場合は、再度 プリンタのプロパティを設定し直してください。

メインメニューの[配送伝票]ボタンをクリックして、配送伝票を選択します。

「ヤマト 通常便 商品3点」を選択して[伝票選択]ボタンをクリックします。
メインメニューの複写式配送伝票の欄に《ヤマト 通常便 商品3点》と表示されます。

産地直販マスター-R47a3 (サンプル) .xslsm - 産地直販マスター

印刷 プレビュー

印刷 プレビューを開く

次のページ 前のページ 余白の表示

印刷 プレビュー

〒 777-7777 2019 10 13 10 15 O

〒 777-7777-7777

□□□■ A1111111 住所NO = 123456 1/2番口 1

お客先住所① T8901234567890 A2222222 〒 8901234567890 2

お客先住所② T8901234567890 A3333333 〒 8901234567890 2

お客先住所③ T8901234567890

お客先住所④ T8901234567890

お客先住所⑤ T8901234567890

お客先住所⑥ T8901234567890

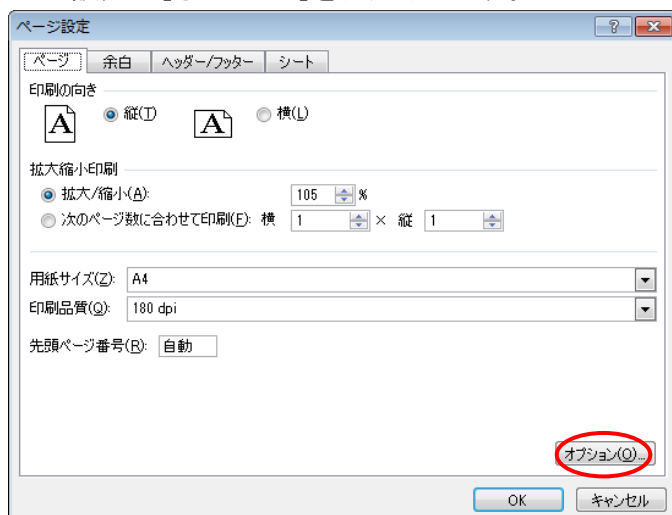
お客先住所⑦ T8901234567890

お客先住所⑧ T8901234567890

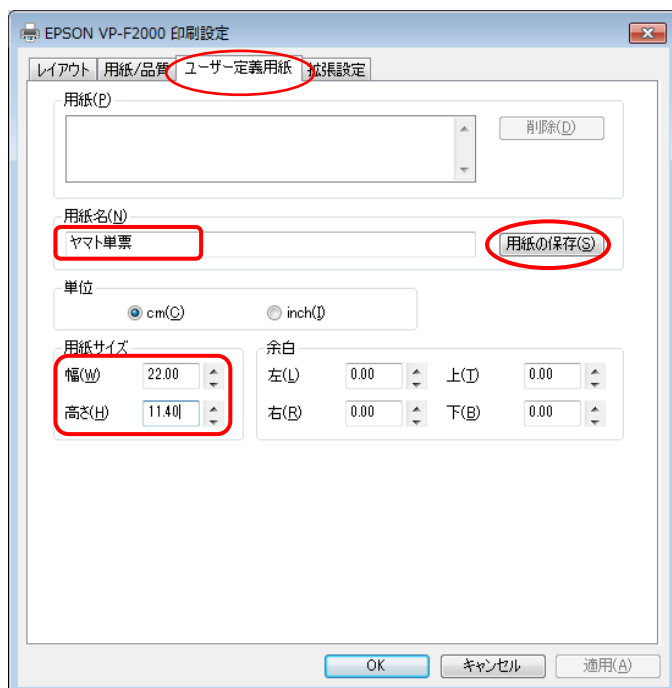
お客先住所⑨ T8901234567890

お客先住所⑩ T8901234567890

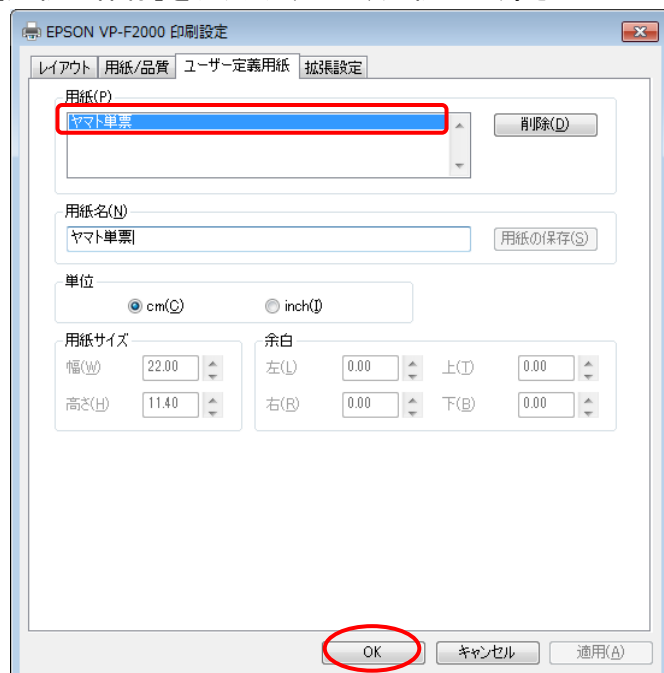
ページ設定の[オプション]をクリックします。



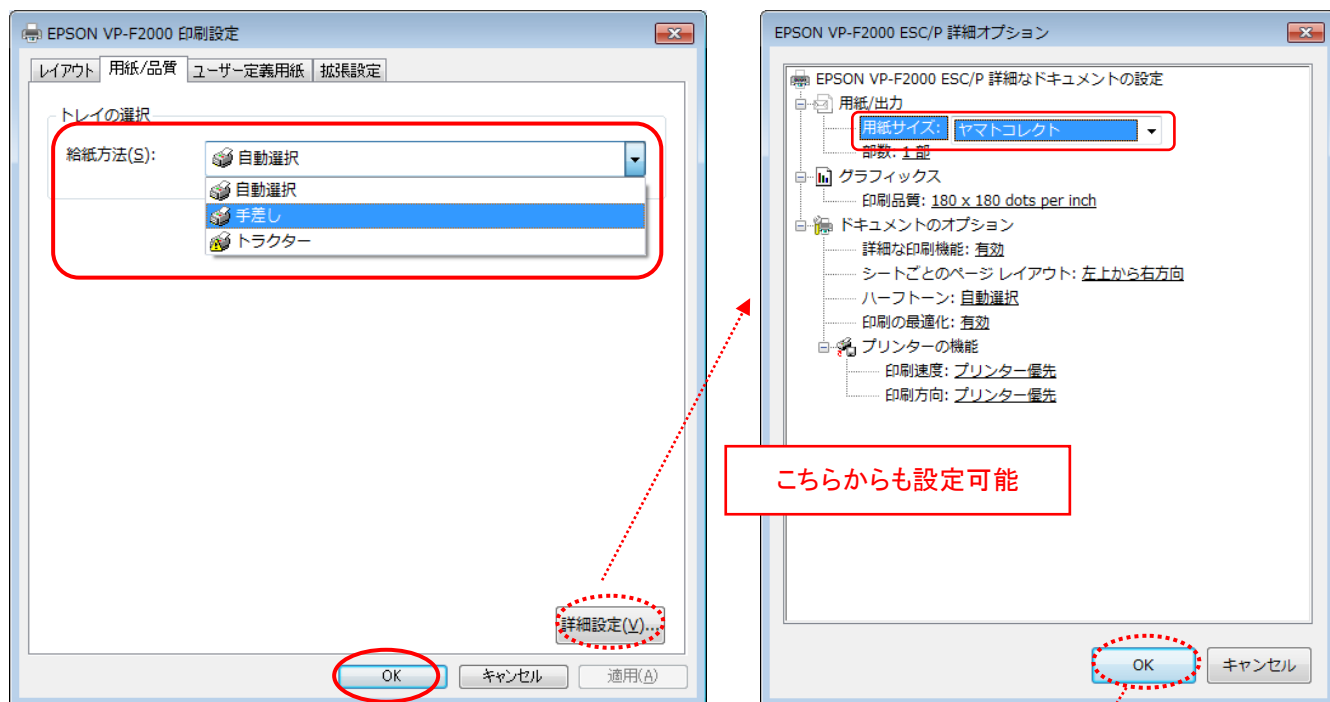
「ユーザ定義用紙」タグの用紙名に「ヤマト単票」、用紙のサイズ(幅＝22cm、高さ＝11.4cm)を入力します。



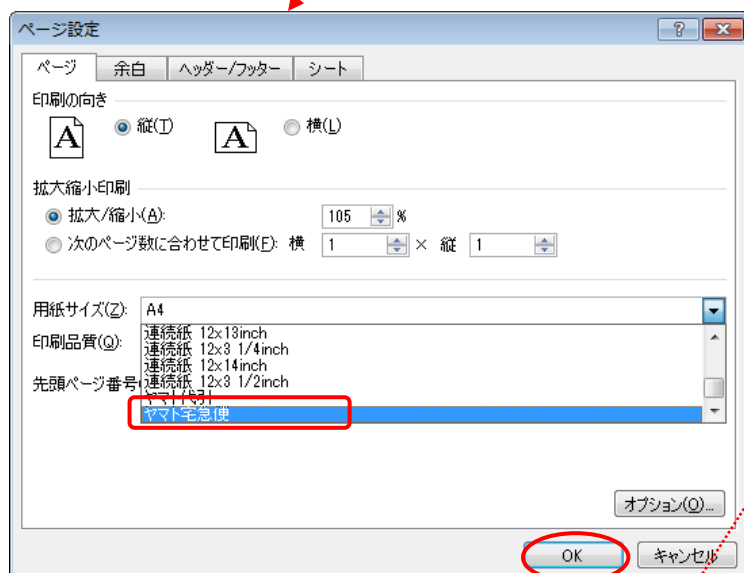
[用紙の保存]をクリックすると、用紙が登録されるので、[OK]をクリックします。



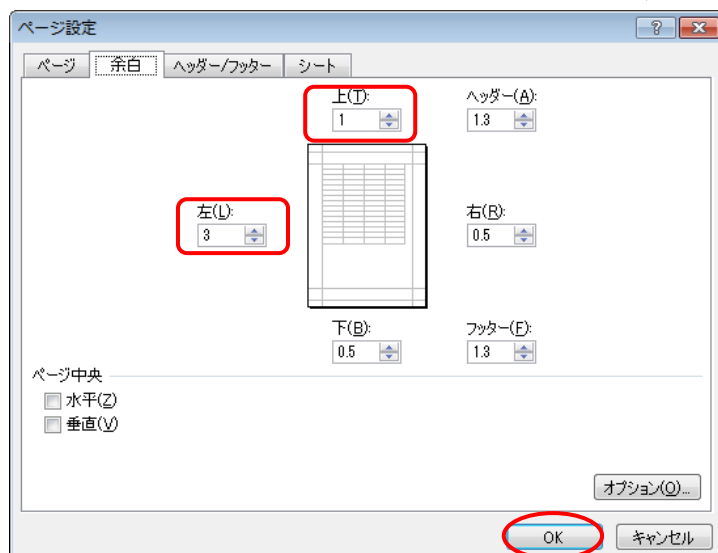
印刷設定の[用紙／品質]タブをクリックして、給紙方法を「手差し」に設定します。



[詳細設定]をクリックして、用紙サイズを(4)で定義した用紙「ヤマト単票」に設定します。



「余白」タブの上余白と左余白を設定します。(最初は、上=1.0cm、左=3.0cm 位にしてみます)



[OK]をクリックすると印刷プレビュー画面に戻るので、印刷イメージが正しいことを確認します。



配送伝票(単票)を用紙ガイドにセットすると、自動的に引き込まれます。

[印刷]をクリックすると下記のような画面が表示されます。



[OK]をクリックすると印刷されます。

印刷結果を見て、[テスト印刷]ボタンをクリックして、余白を調整して、印刷位置を調整します。

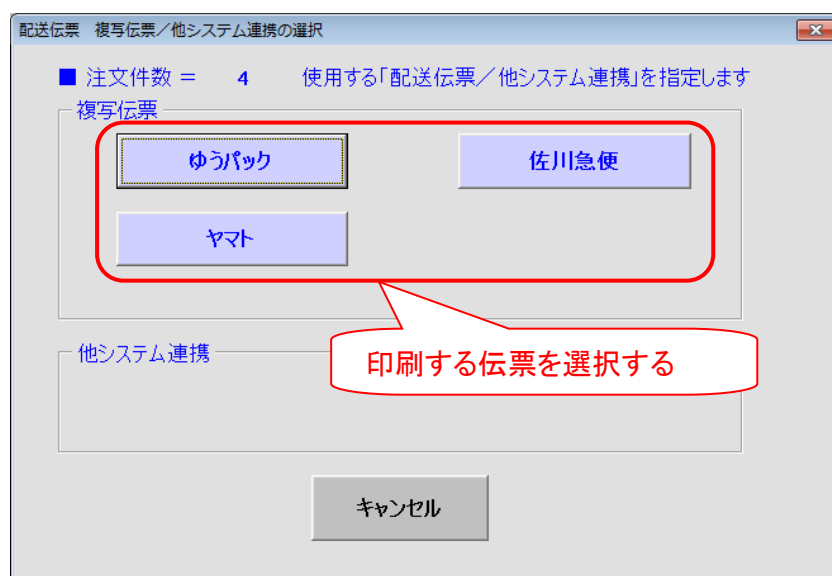
8. 3 配送伝票の切り換え

「配送伝票の設定」で、2つ以上の配送伝票を有効にした場合は、配送伝票の印刷時にどの伝票に印刷するか選択する必要があります。

3つの伝票(例えば、ゆうパック、ヤマト、佐川急便)を使用する場合、メインメニューは下記のようにになります。



配送伝票を印刷する際に、下記のような伝票の選択画面が表示されます。



《注意》 使用する全伝票について、給紙方法と用紙サイズ・余白を設定する必要があります。

8. 3. 1 複数の連続帳票を切り替える

3種類の配送伝票を連続帳票で印刷する場合、下記のように配送伝票を設定し、印刷するプリンタ(連続帳票)を登録します。

1台のプリンタで行う場合は、印刷する際に用紙が変わったら、用紙をセットし直す必要があり、大量の伝票印刷には問題があります。

3台のドットプリンタで各伝票を印刷する場合は、用紙をセットし直す必要はなくなります。

印刷する伝票が多い場合は、複数台のドットプリンタで処理することをお勧めします。

配送伝票/他システム連携の設定

有効 配送伝票名 複写伝票 印刷するプリンタ

| 有効 | 配送伝票名 | 複写伝票 | 印刷するプリンタ |
|--|-------|-------------------|---------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> F1 | ゆうパック | 02 ゆうパック(B)2 商品3点 | VP-F2000 (連続帳票) 選択 |
| <input checked="" type="checkbox"/> F2 | ヤマト | 07 ヤマトA 通常便 商品3点 | VP-F2000 (連続帳票) 選択 |
| <input checked="" type="checkbox"/> F3 | 佐川急便 | 11 佐川急便(H22) 商品3点 | VP-F2000 (連続帳票) 選択 |
| <input type="checkbox"/> F4 | | | 選択 |

他システム連携

有効 他システム名 ◆ 配送伝票ファイル名の頭2文字は数字にしないこと 保存するフォルダ **他システムクリア**

| 有効 | 他システム名 | ◆ 配送伝票ファイル名の頭2文字は数字にしないこと | 保存するフォルダ |
|-----------------------------|--------|---|-----------|
| <input type="checkbox"/> C1 | | <input type="checkbox"/> 代引/通常でファイルを分ける | 選択 |
| <input type="checkbox"/> C2 | | <input type="checkbox"/> 代引/通常でファイルを分ける | 選択 |
| <input type="checkbox"/> C3 | | <input type="checkbox"/> 代引/通常でファイルを分ける | 選択 |

発行方法

- ☒ 即時発行 (注文入力時に配送伝票を印刷する)
- ☐ 一括発行 (注文入力後、一括して配送伝票を印刷する)

※ 複写伝票は、伝票をプリンタに印刷して、用紙サイズ・余白等を設定します。
※ 他システム連携は、他システム側で、印刷項目の紐づけを行ってください。

複写伝票/他システム連携共通

☐ 依頼主=お届け先のととき、依頼主を「ご本人」にする ☒ 小包の数(梱包数)分の配送伝票を印刷する ☒ 追加用配送シールなし

複写式配送伝票の印刷

☒ 発行日 ☐ 印刷しない ☒ 年のみ印刷 ☐ 伝票印刷日を印刷 ☐ 出荷日を印刷

☒ 印刷指定 ☒ 注文NO ☒ 商品コード ☒ 商品名 ☐ 文字以降カット ☒ 数量 ☒ 冷蔵・冷凍(マーク)

☒ 「のし指定」 ☐ 「メモ」 ☒ 発送元 ☐ 代引きの場合、送り主欄を印刷しない

他システム連携(ファイル作成)

☒ ファイル名付加する文字 ※ 入力した端末の識別用

☒ 発送予定日 ☒ ファイル作成時に指定する ☐ 出荷日にする

☒ 印刷指定 ☐ 数量 <ヤマトB2> ☒ 記事欄 ☒ 注文メモ ☐ 自社情報

☐ 数量 <ゆうプリR> ☒ なまもの

設定 キャンセル

8. 3. 2 複数の単票を切り替える

3種類の配送伝票を全て単票で印刷する場合、下記のように配送伝票を設定し、印刷するプリンタ(手差し)を登録します。

毎回、単票をプリンタにセットする必要があるため、大量の伝票印刷には向いていませんが、単純な操作で処理することができます。

配送伝票／他システム連携の設定

有効 配送伝票名 複写伝票 印刷するプリンタ 複写伝票クリア

| | | | | | |
|----|-------------------------------------|-------|-------------------|----------------|----|
| F1 | <input checked="" type="checkbox"/> | ゆうパック | 02 ゆうパック(B)2 商品3点 | VP-F2000 (手差し) | 選択 |
| F2 | <input checked="" type="checkbox"/> | ヤマト | 07 ヤマトA 通常便 商品3点 | VP-F2000 (手差し) | 選択 |
| F3 | <input checked="" type="checkbox"/> | 佐川急便 | 11 佐川急便(H22) 商品3点 | VP-F2000 (手差し) | 選択 |
| F4 | <input type="checkbox"/> | | | | 選択 |

有効 他システム名 ◆ 配送伝票ファイル名の頭2文字は数字にしないこと 保存するフォルダ 他システムクリア

| | | | | | |
|----|--------------------------|--|---|--|----|
| C1 | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 代引／通常でファイルを分ける | | 選択 |
| C2 | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 代引／通常でファイルを分ける | | 選択 |
| C3 | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 代引／通常でファイルを分ける | | 選択 |

発行方法

- 即時発行 (注文入力時に配送伝票を印刷する)
- 一括発行 (注文入力後、一括して配送伝票を印刷する)

※ 複写伝票は、伝票をプリンタに印刷して、用紙サイズ・余白等を設定します。
※ 他システム連携は、他システム側で、印刷項目の紐づけを行ってください。

複写伝票／他システム連携共通

☐ 依頼主＝お届け先のととき、依頼主を「ご本人」にする ☒ 小包の数(梱包数)分の配送伝票を印刷する ● 追加用配送シールなし

複写式配送伝票の印刷

■ 発行日 ○ 印刷しない ● 年のみ印刷 ○ 伝票印刷日を印刷 ○ 出荷日を印刷

■ 印刷指定 ☒ 注文NO ☒ 商品コード ☒ 商品名 文字以降カット ☒ 数量 ☒ 冷蔵・冷凍(マーク)

☒ 「のし指定」 ☐ 「メモ」 ☒ 発送元 ☐ 代引きの場合、送り主欄を印刷しない

他システム連携(ファイル作成)

■ ファイル名付加する文字 ※ 入力した端末の識別用

■ 発送予定日 ● ファイル作成時に指定する ○ 出荷日にする

■ 印刷指定 ☐ 数量 <ヤマトB2> ■ 記事欄 ● 注文メモ ○ 自社情報

<ゆうプリR> ☒ なまもの

設定 キャンセル

使用する頻度が高い用紙を連続帳票にして、たまに印刷する伝票を単票で印刷することができます。
1台のドットプリンタでも大量の伝票印刷が可能です。

連続帳票と単票が混在

操作ミスがないように、手順をしっかりと決めておくことが重要です。

手順書を貼っておくことをお勧めします。

<お願い>

本プログラム及びマニュアルの著作権は、開発者に帰属します。

無断で、プログラムの複製・流用、マニュアルの複写・転用することは法律で禁止されています。

Copyright (C) 2018 Juichi.Maezumi All Rights Reserved.

開発元 ソフト工房 前角

ホームページ http://www.geocities.jp/j_fronthorn/Sancyoku.html